

# 愛知県書写書道教育研究会

## 子ども達を書写好きに



元尾道市立御調西小学校長

広島大学客員講師

藤 井 浩 治

# 「書写」とはこんな時間①

## 「書写」のイメージ

- ひたすら手本を見て書かされる**つらい時間**
- 上手な子だけ**が輝ける時間
- できれば**教えたくない教科**



# 書写は他教科（算数）と同じ

	算 数	書 写
ねらい	三角形の面積を求めよう	文字の大きさ
きまりの 発見	三角形が2つで 平行四辺形になるよ	文字を比較すると 共通点が分かったよ
公式 (原則)	「底辺 × 高さ ÷ 2」だね	「漢字」は大きく 「ひらがな」は小さく
確かめ	数字をあてはめて 確かめよう	原則にあてはめて 自分の字を確かめよう
練習	練習問題をやってみよう 「ヒントカード」	半紙に練習しよう 「練習用紙(なぞり用紙)」
振り返り	学習したことをまとめて 発表しよう	まとめ書きをして 評価しよう

# 45分で子どもが変わる授業・「書写」

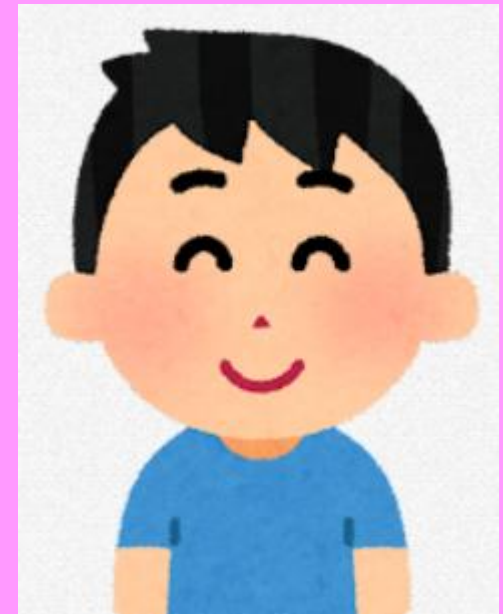




# 「書写」とはこんな時間②

## 私の授業を受講後の感想

- 書写は目に見える分かり易い成長と成功体験を  
味わえる**素敵**な**教科**だ
- 一時間で**気持ち**や**文字**までも**変える**書写の授業は**凄い**



# 書写授業の単元構成（3時間）



①発見する授業（1時間目）

②既習事項の活用（2時間目）

③硬筆で他字に応用（3時間目）



硬筆練習プリント									
2023年8月18日		氏 名							
＜「三つの部分の組み立て方」の原則＞									
①「左部」の右端をそろえる									
②「右部」の左端をそろえる									
③「中部」縦画は上げる、横画は下げる									
④「全体」横画をそろえない									
＜漢字が大きい文＞		「中部が下がる・同じ」漢字			「中部が上がる」漢字				
課 題	漢字が かな小	課 題	2回目 通く	1回目 やっつ	課 題	2回目 通く	1回目 やっつ		
班で協働して潮の干満の差を測った		測			潮				
		倒			衛				
		側			術				
		例			湖				
		謝			樹				
		働			班				
		識			脚				
		徹			瀬				

て」の確認と試し書き

単元①発見する授業

氏 名	
組立方 (内外・三つの部分)	
まとめ書き	①ためし書き

③三回目	②二回目

1つ

4つ

布  
亡月  
王

と三つの部分の  
立て方に気をつけて書く

めて

# 「内外の組立て方」のきまりを知ろう

中心がずれるチーム

中心が通るチーム

②

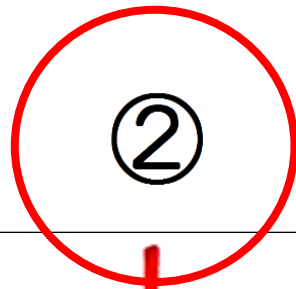
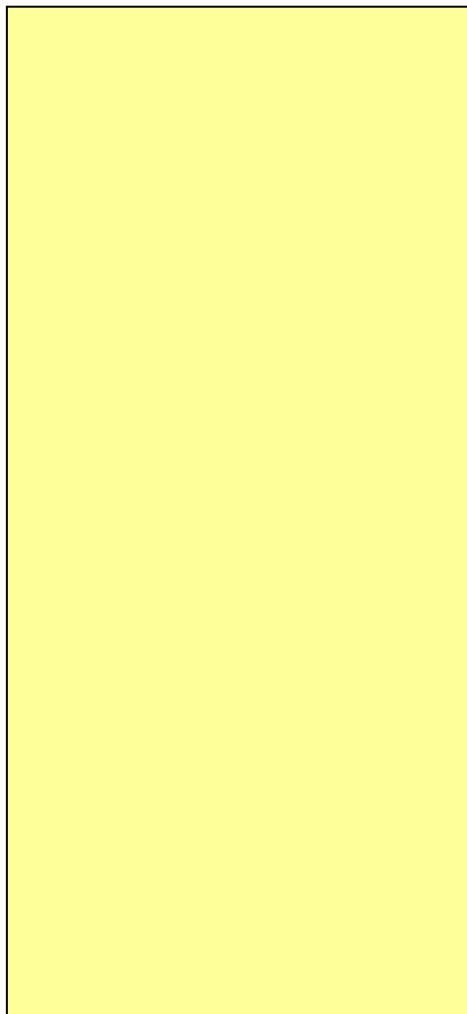
「原則をクイズで発見」  
教え込みではなく、子どもたち  
に発見させる

内外の組立方に気をつけて書く



# 「中心を通る」方が良い

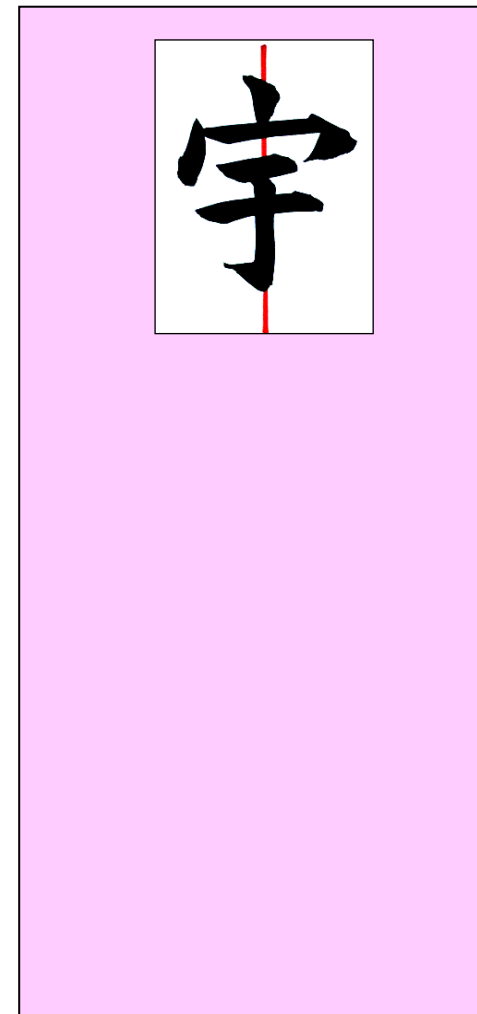
中心がずれるチーム



①



中心が通るチーム



内外の組立方に気をつけて書く

# 「中心がずれる」方が良い

中心がずれるチーム



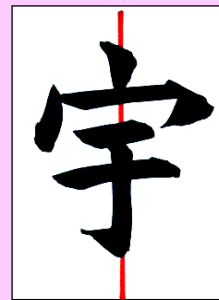
②



①



中心が通るチーム



内外の組立方に気をつけて書く

# 中心を通る方が良い

中心がずれるチーム

岸

②

軍

中心を通るチーム

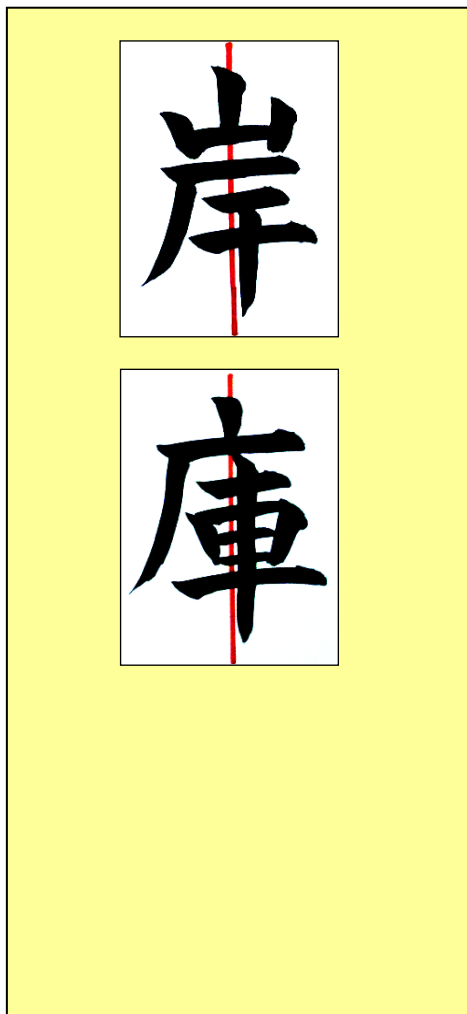
宇

軍

内外の組立方に気をつけて書く

# 「中心がずれる」方が良い

中心がずれるチーム



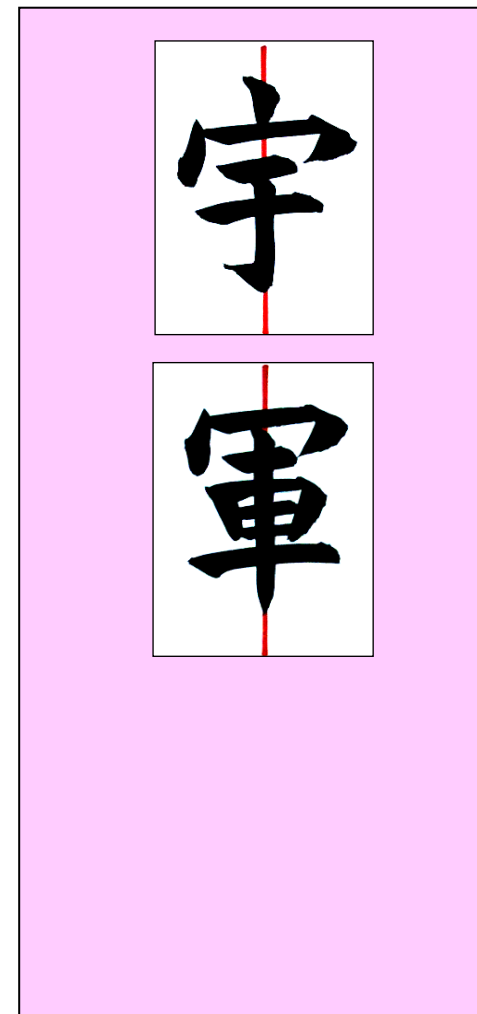
②



①



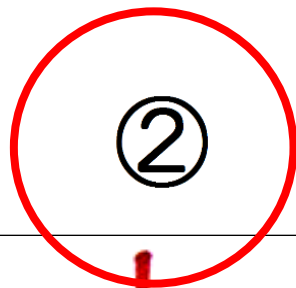
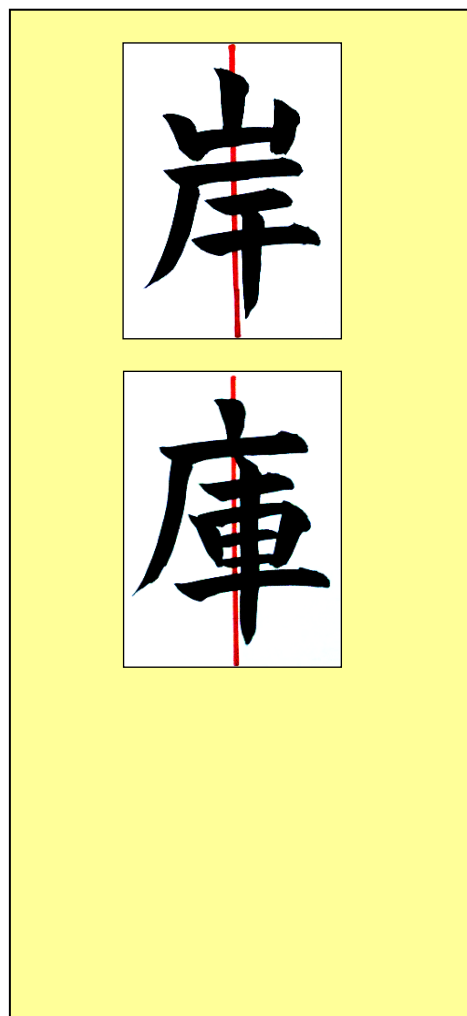
中心が通るチーム



内外の組立方に気をつけて書く

# 中心を通る方が良い

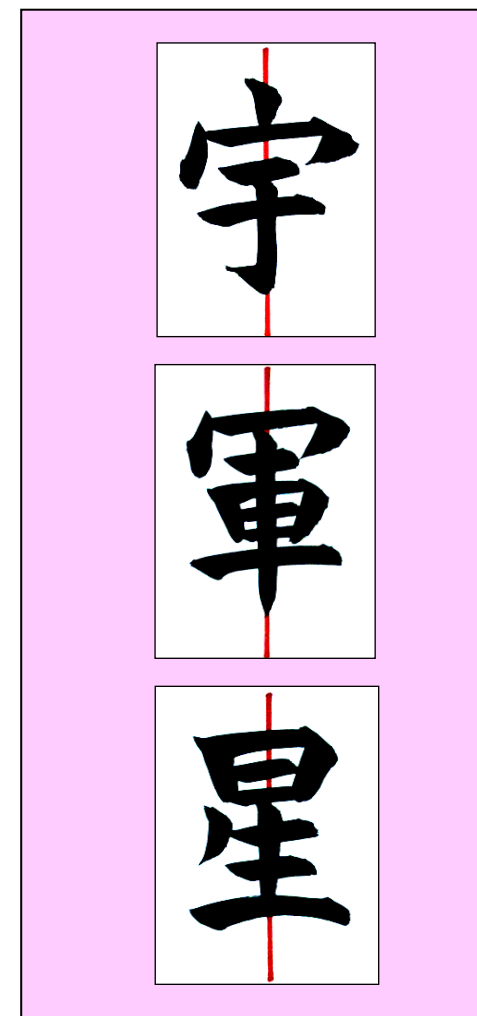
中心がずれるチーム



①



中心を通るチーム

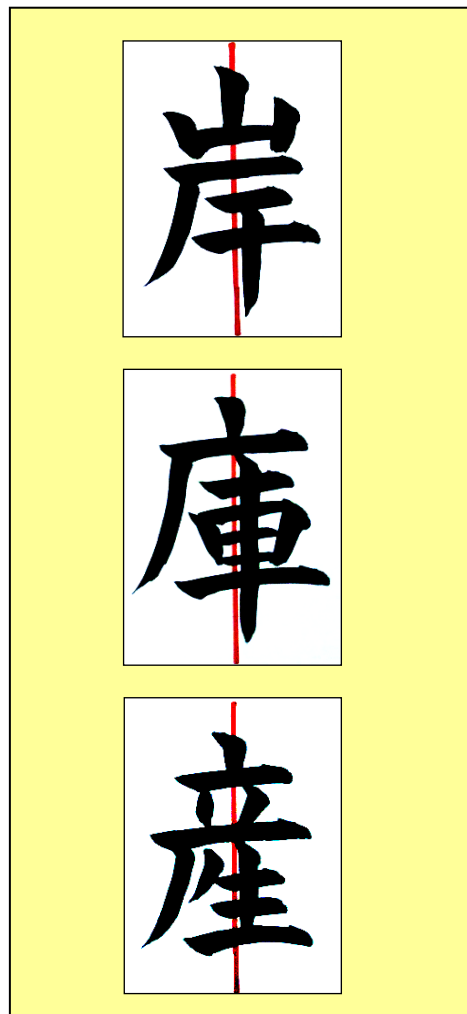


内外の組立方に気をつけて書く



# 「中心がずれる」方が良い

中心がずれるチーム



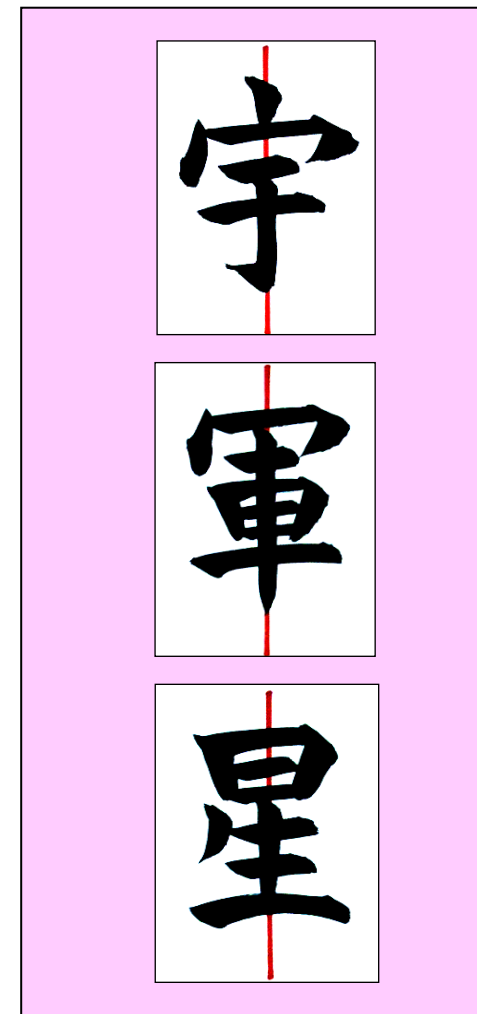
②



①



中心が通るチーム

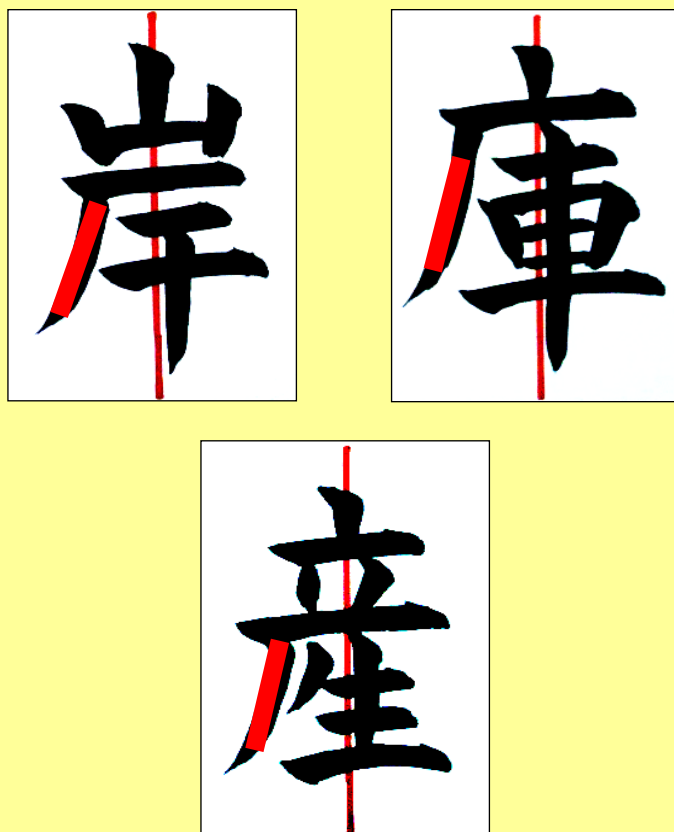


内外の組立方に気をつけて書く

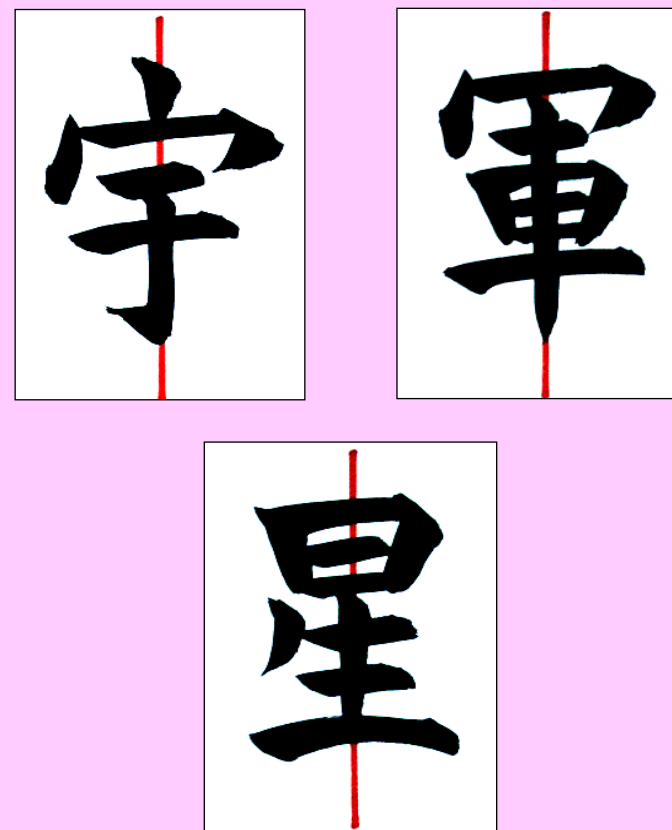
# 「ずれるチーム」と「通るチーム」の違いは？

漢字の左に左はらいがある

中心がずれるチーム

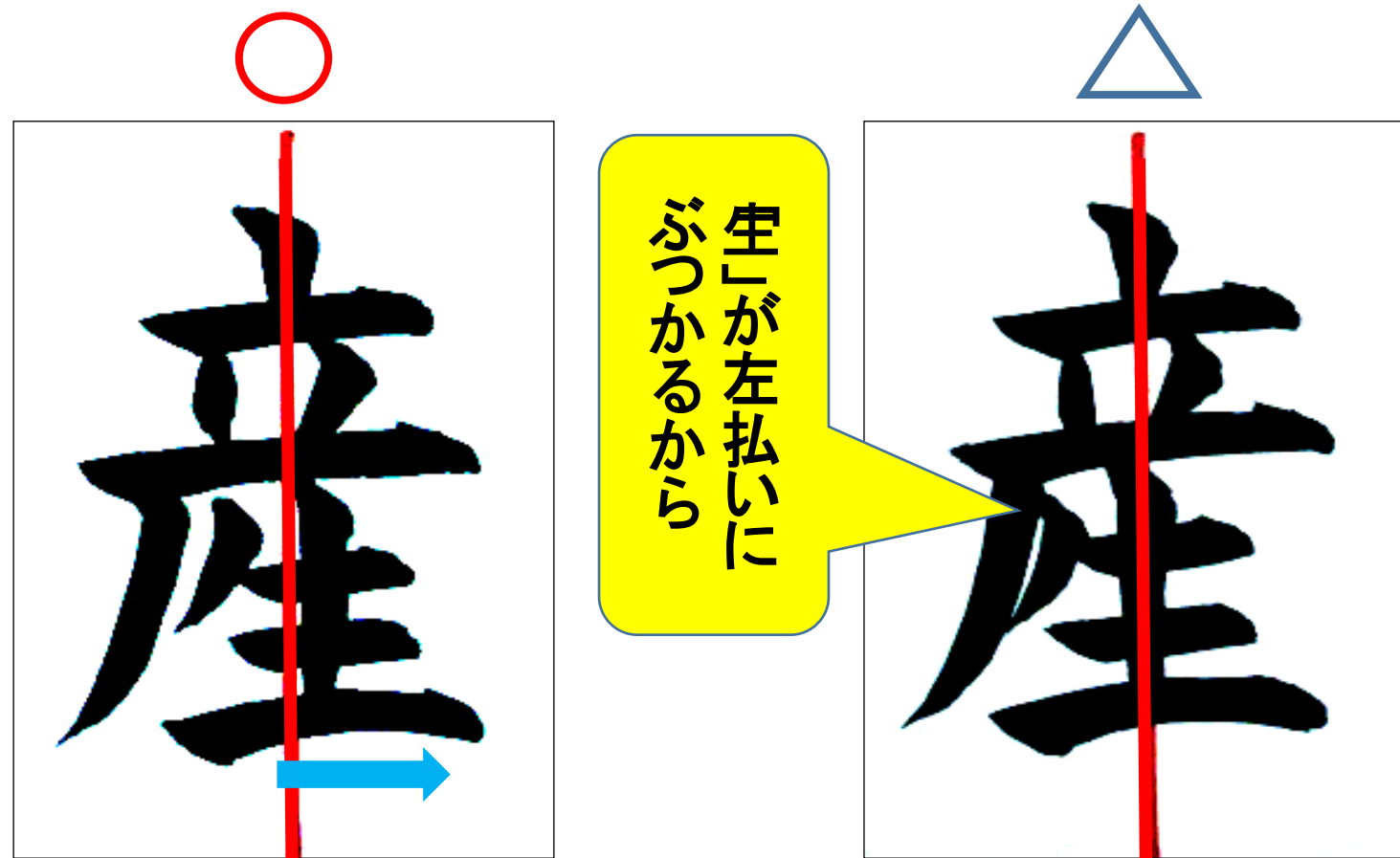


中心が通るチーム



内外の組立方に気をつけて書く

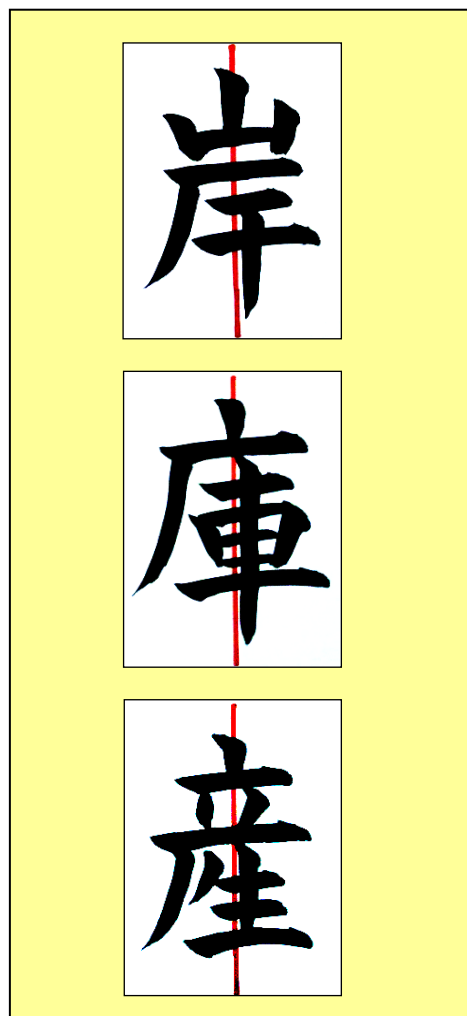
# どうして「左払い」があると中心をずらすのか



「中の部分」が「左はらい」にぶつからないようにするため  
「中の部分」を少し右に寄せる

# どちらの組立て方が良いか

中心がずれるチーム



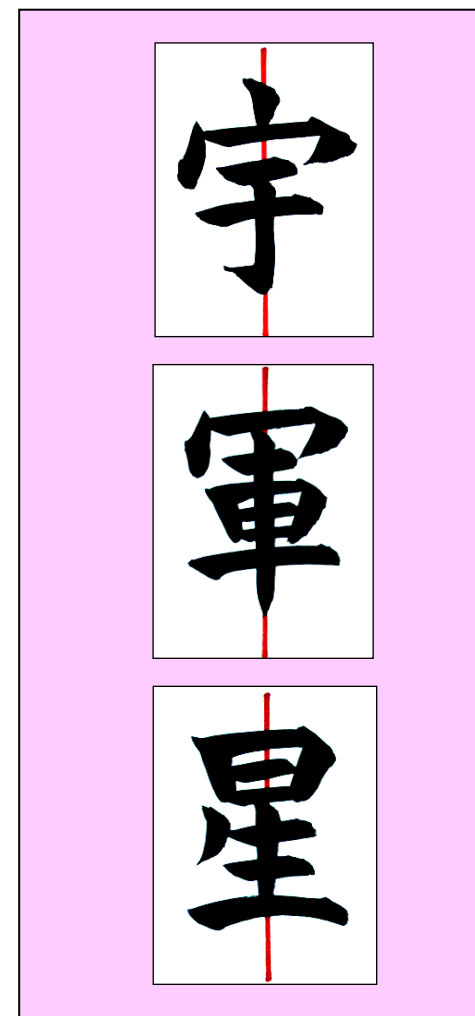
②



①



中心が通るチーム

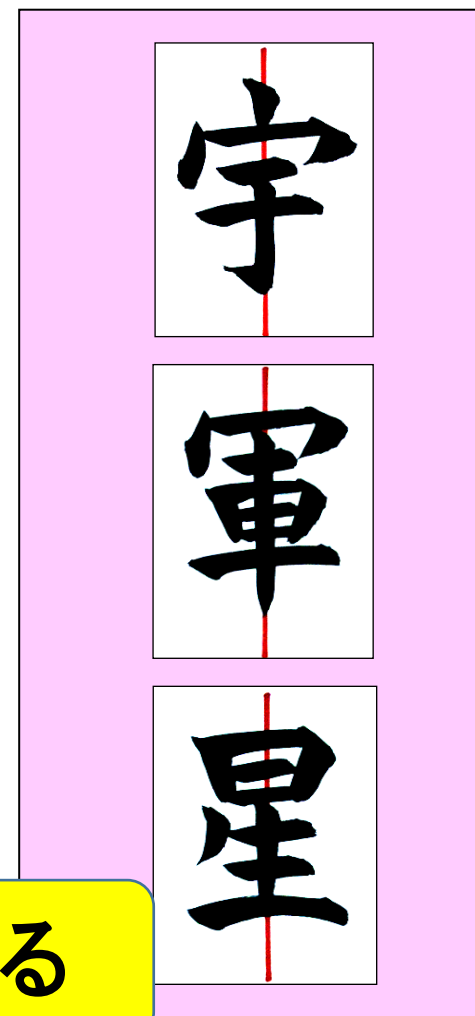
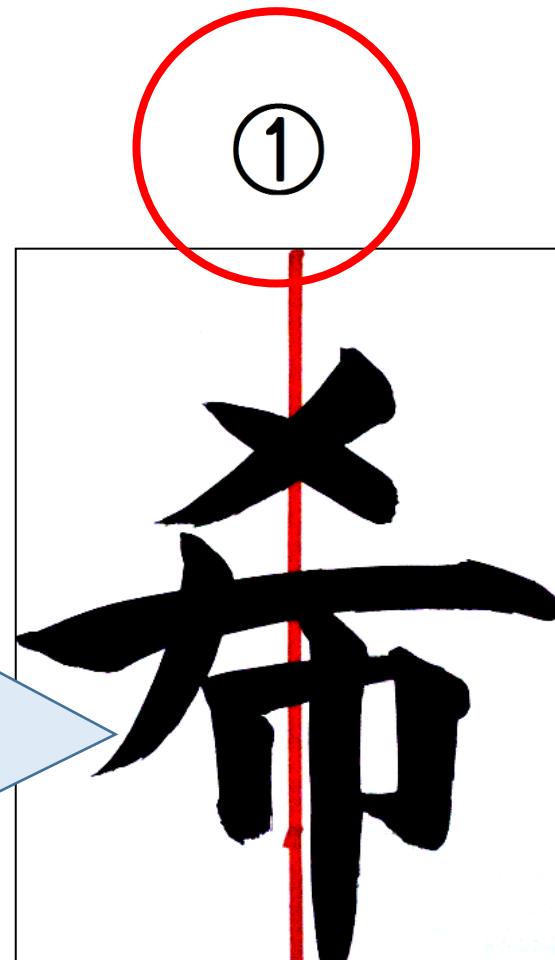
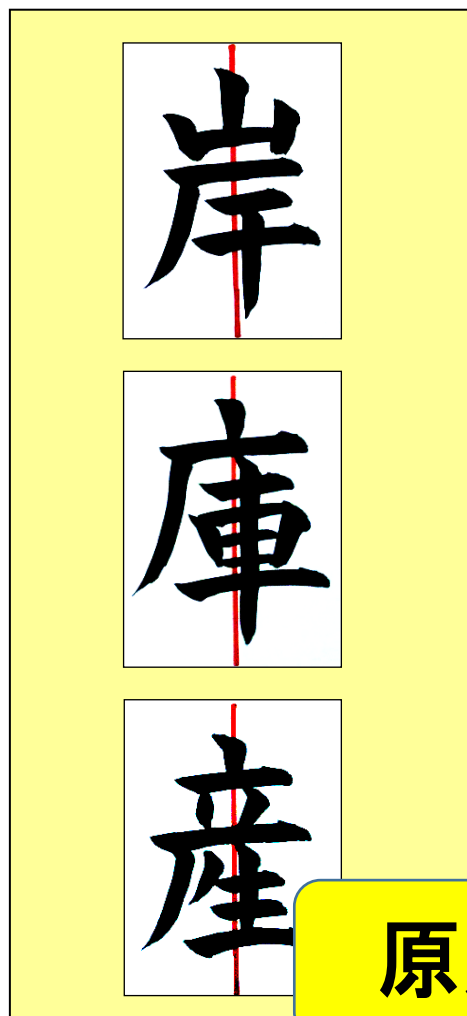


内外の組立方に気をつけて書く

# 「中心をずらす」方が良い

中心がずれるチーム

中心が通るチーム

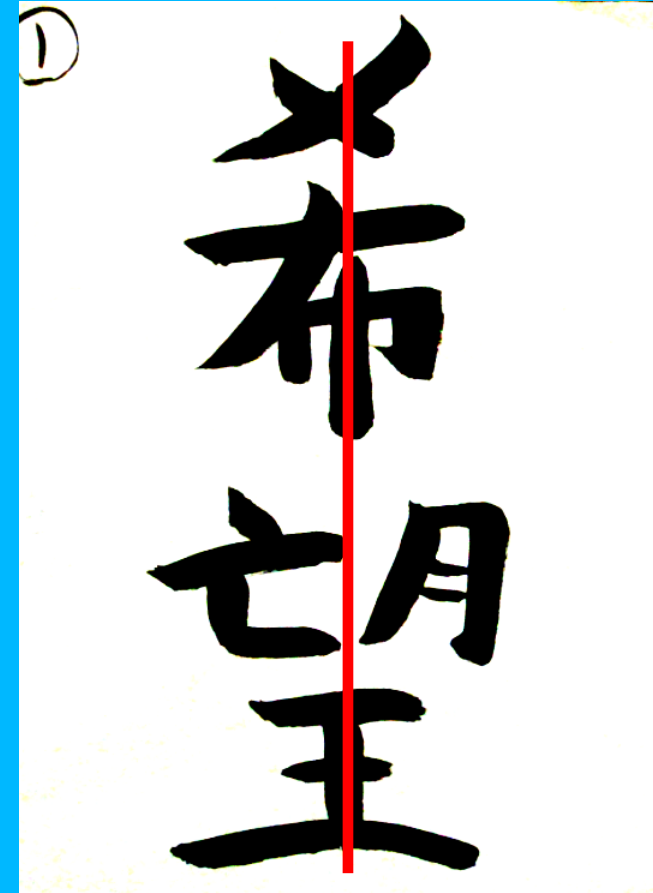
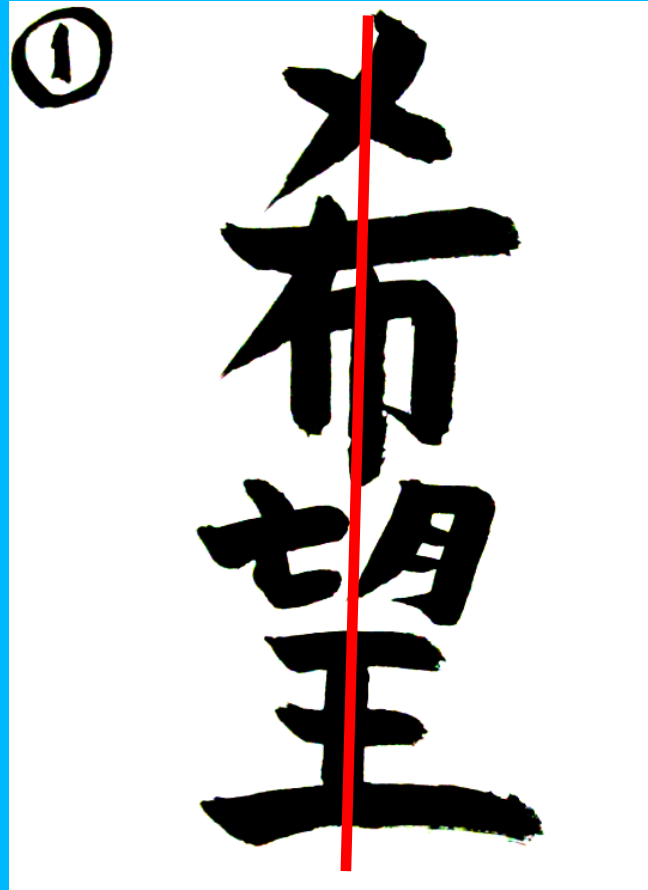


原則 「左はらい」があると中心が右に寄る

内外の組立方に気をつけて書く



# 試書き・中心がそろっている



手本を見ないで書いた「希望」（児童の実態）

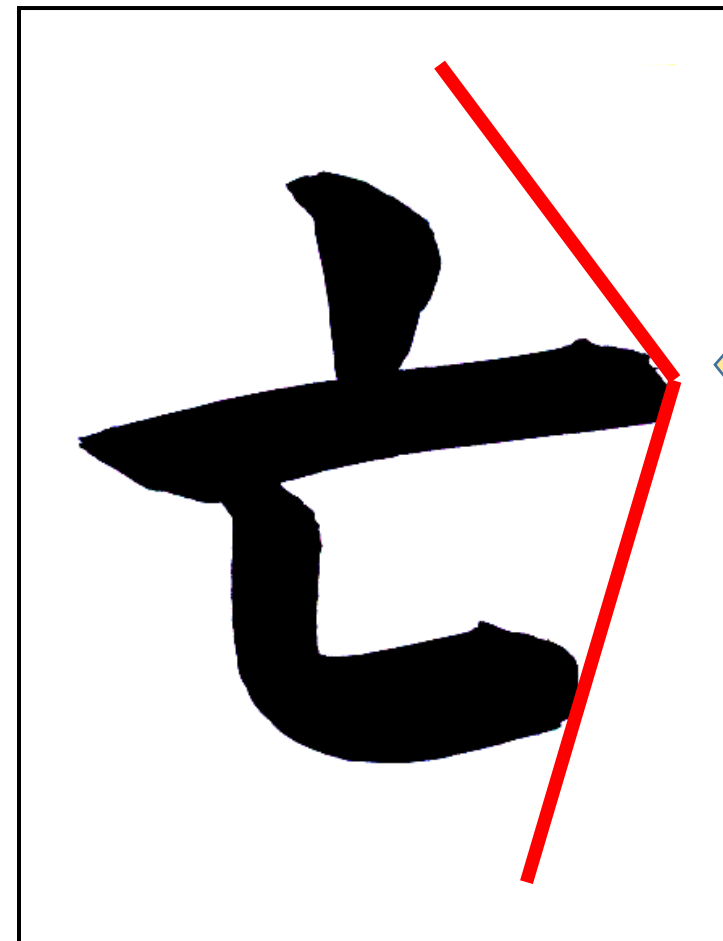
内外の組立方に気をつけて書く

# 「三つの部分」の原則①（左上部分）

亡月  
王

三つの部分の組立方に気をつけて書く

①



右はし」が  
そろっていない

②

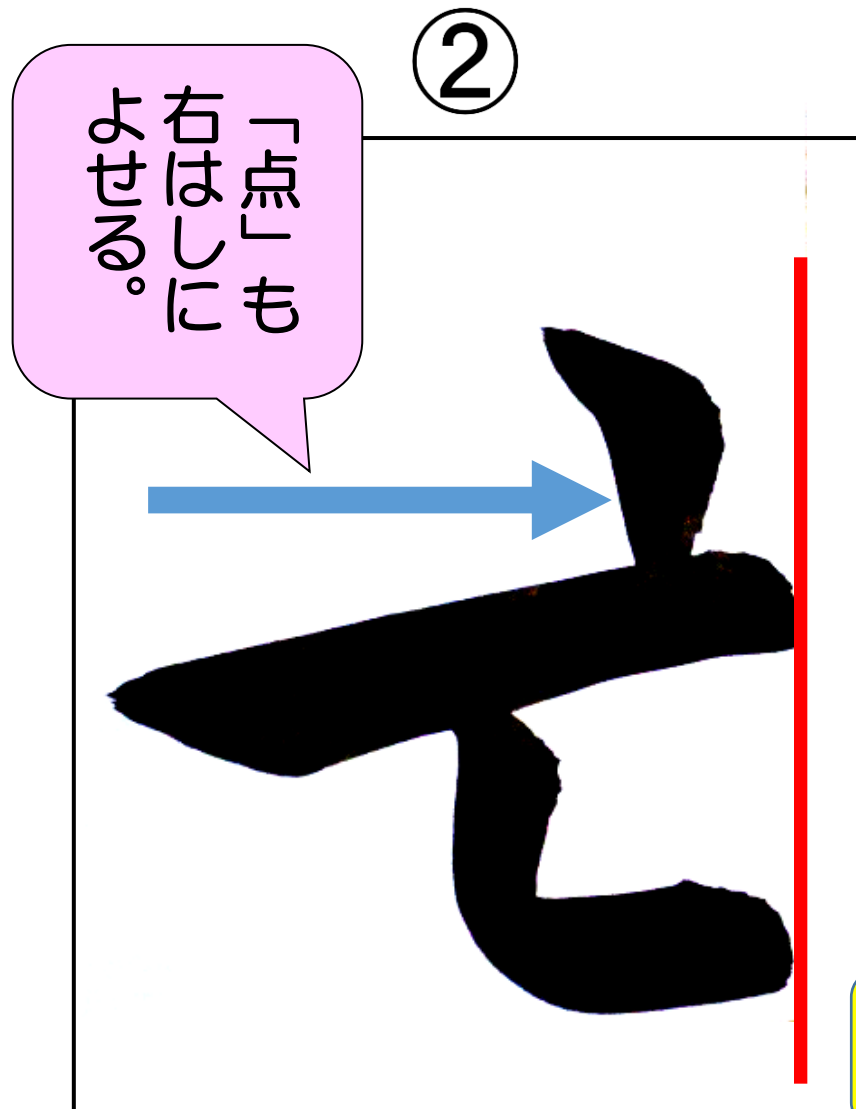


右はし」が  
そろっている

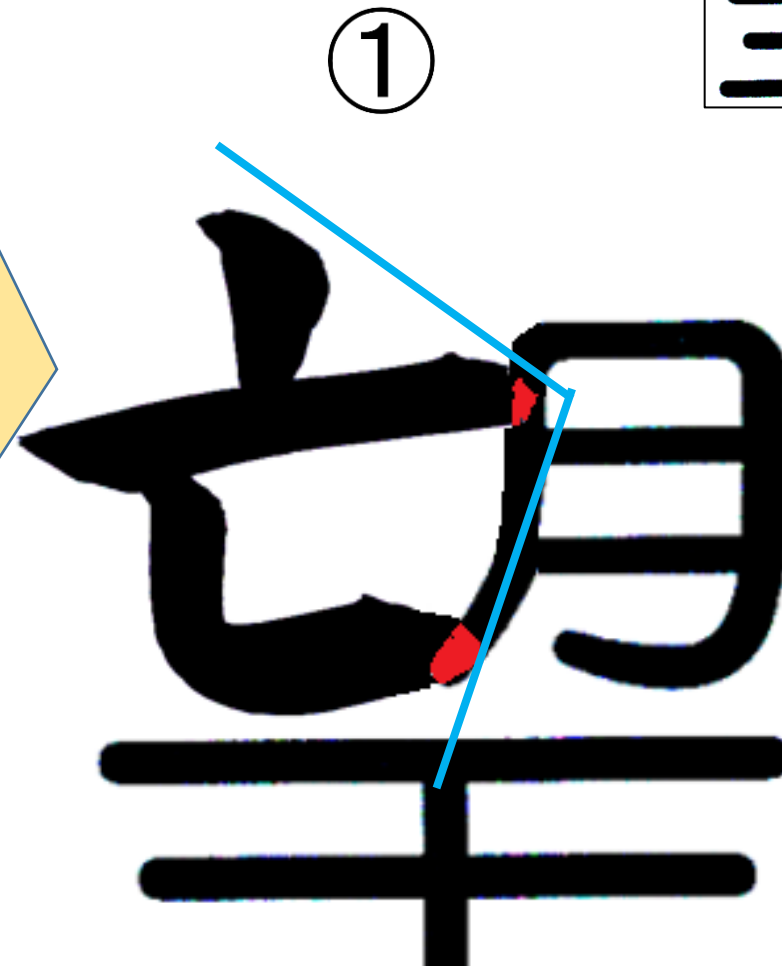
# どうして「右端のそろった」方が良いか <原理>

亡月  
王

三つの部分の組立方に気をつけて書く



右はし「がそろっていない  
左上部分」は月」とぶつかる



原則①右端をそろえる(左上部)

# 試書き・右はしがそろっていない



手本を見ないで書いた「希望」（児童の実態）

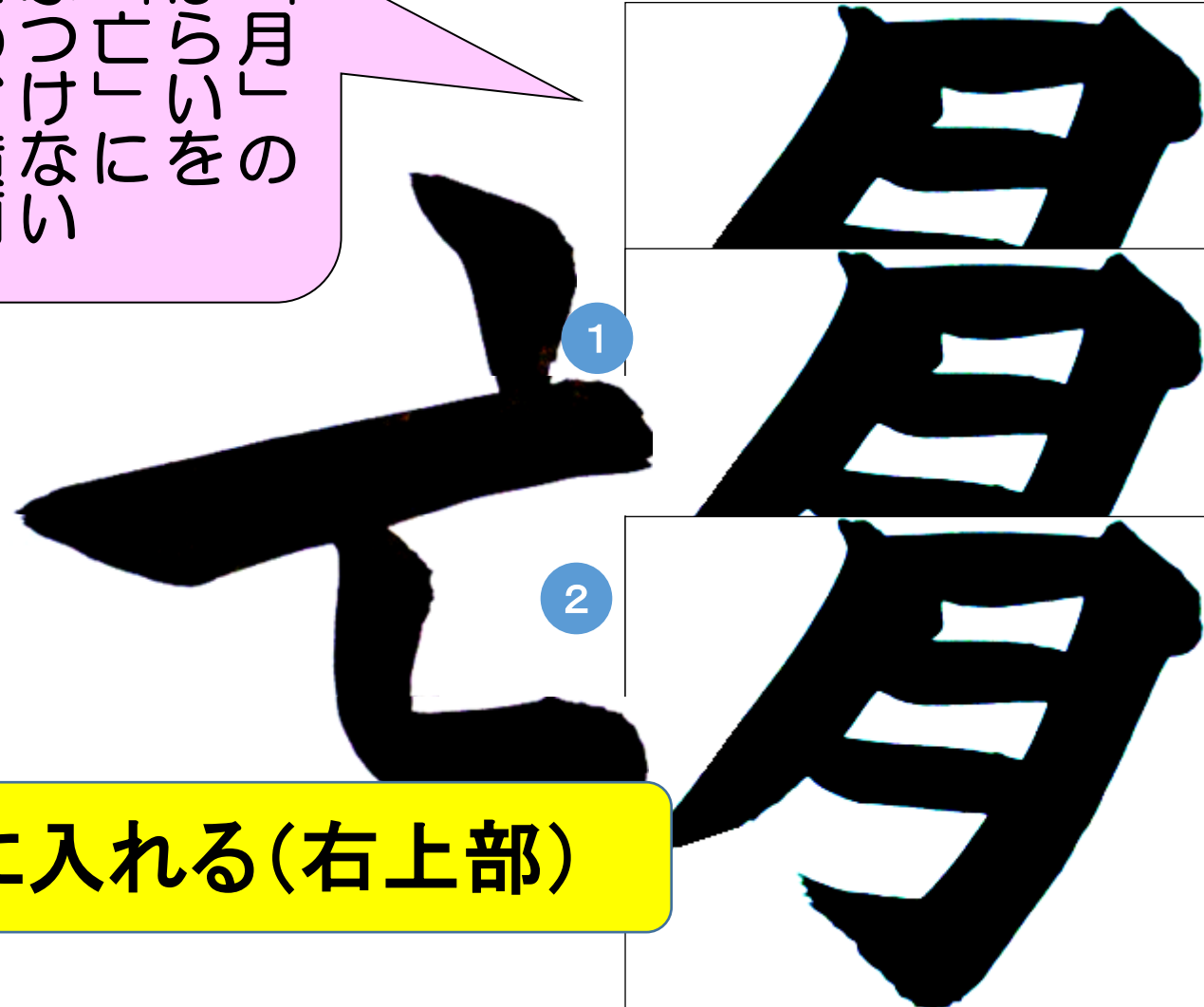
三つの部分の組立方に気をつけて書く

# 「三つの部分」の原則②（右上部分）

望月

三つの部分の組立方に気をつけて書く

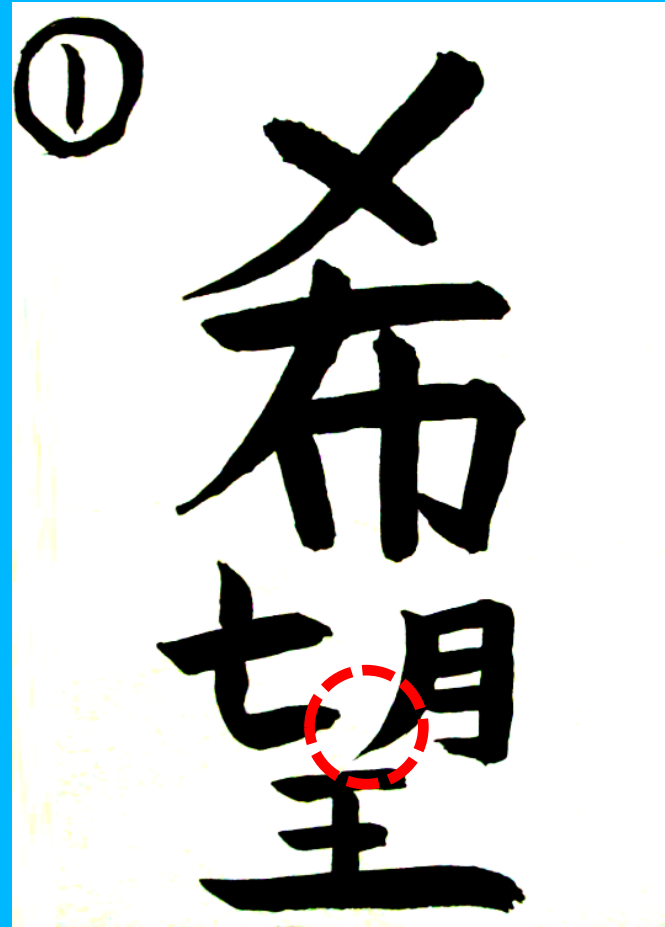
「月」の  
はらいを  
「亡」に  
ぶつけない  
ため、横画  
を避けて  
どこにはめ  
込むか？



原則②月を間に入れる(右上部)



# 試書き・横画の間に入っていない



手本を見ないで書いた「希望」(児童の実態)

三つの部分の組立方に気をつけて書く

# 「三つの部分」の原則③（下部分） どちらの「王」が良いだろう

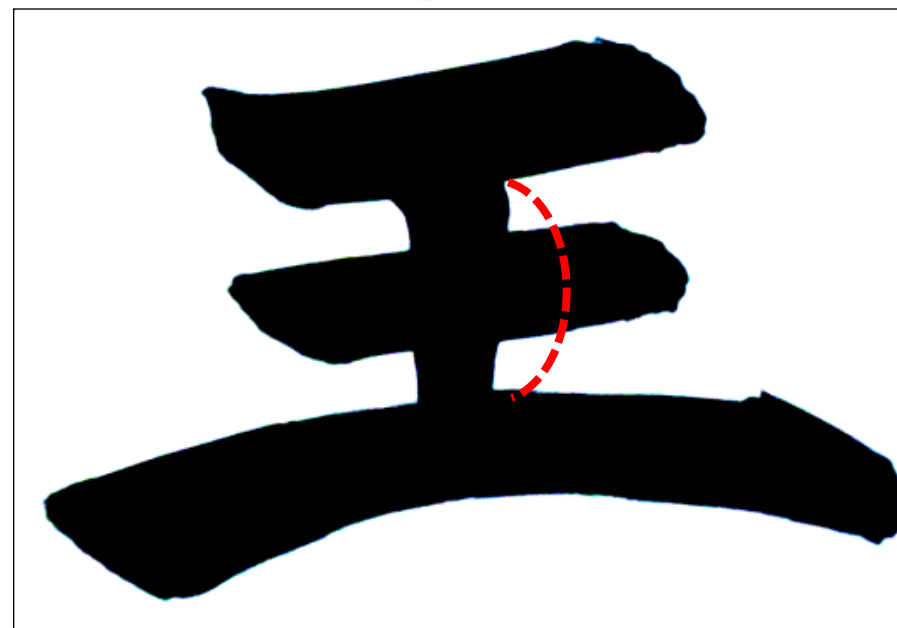


三つの部分の組立方に気をつけて書く

②  
原則③王の縦画を短く（下部）



①



# 「三つの部分」の原則④（全体）

望

原則④中心に寄せる（全体）

「王」を  
「亡」に  
かなり  
近づける

「王」を  
「月」に  
かなり  
近づける

三つの部分の組立方に気をつけて書く

# 試書き・三つの部分が離れている



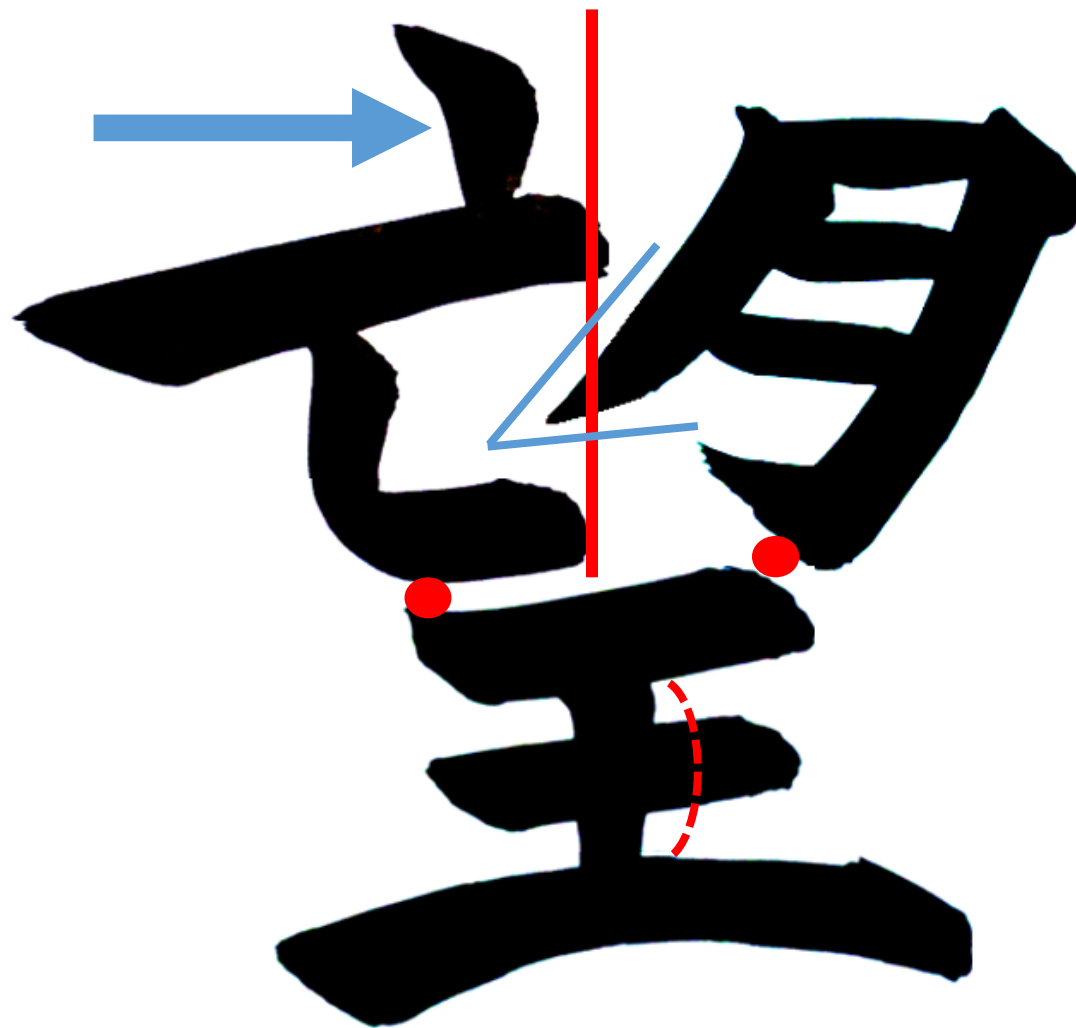
手本を見ないで書いた「希望」（児童の実態）

三つの部分の組立方に気をつけて書く

# 「三つの部分」の原則（まとめ）

望

三つの部分の組立方に気をつけて書く



④ 中心に寄せる（全体）

③ たて画は短く（下部）

② 月を間に入れる（右上部）

① 右端をそろえる（左上部）



# 「三つの部分」の原則（応用）

整

三つの部分の組立方に気をつけて書く

① 右端をそろえる（左上部）

② はらい」を間に入れる（右上部）

③ たて画は短く（下部）

④ 中心に寄せる（全体）



三つのせまい部分に上手く配置するため、それぞれの部分が譲り合って工夫している

# 子どもに「手本」をわたす



# 「内外」の原則について書き込む

中心がずれるチーム

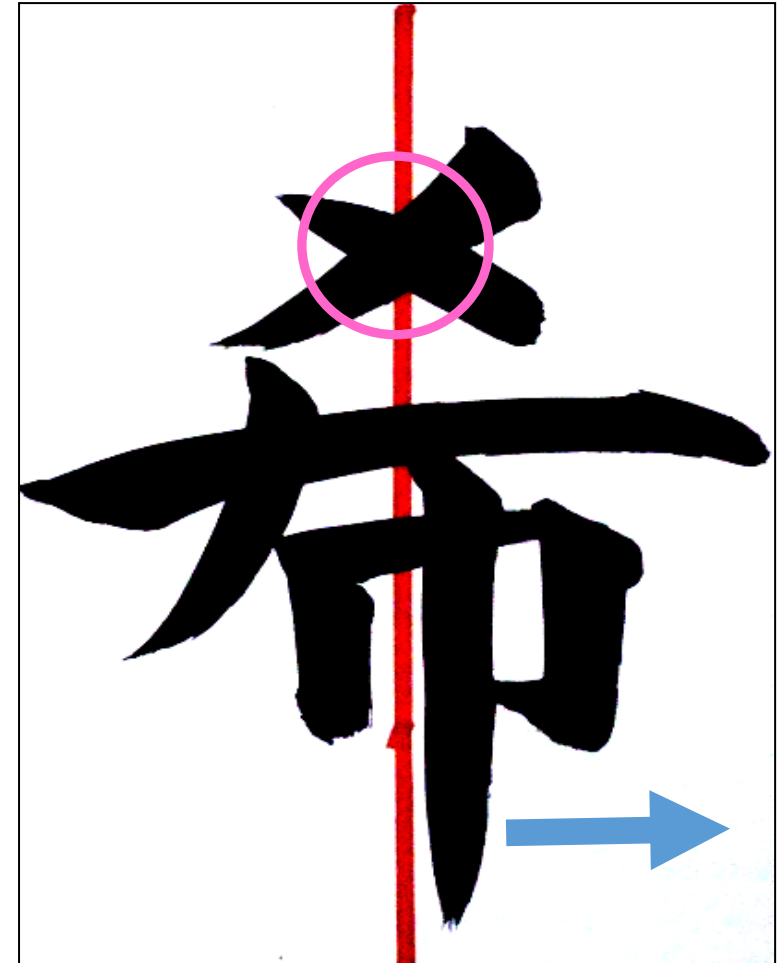
岸

「手本に書き込み」

目標を常に意識させる

※自分の書いたものに書き込みさせない

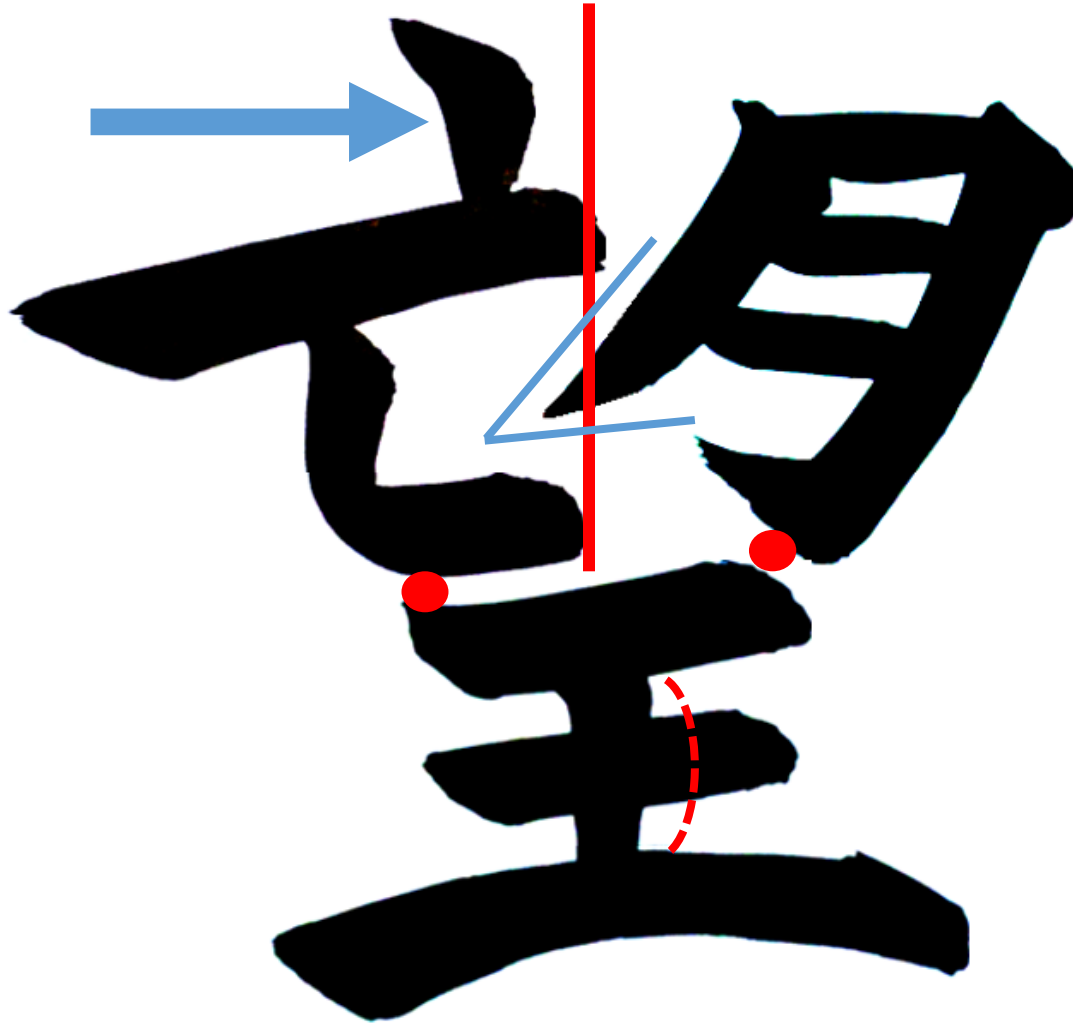
佳



原則 「左はらい」があると中心が右に寄る

# 「三つの部分」の原則について書き込む

亡月  
王



④ 中心に寄せる(全体)

③ たて画は短く(下部)

② 月を間に入れる(右上部)

① 右端をそろえる(左上部)

原則に当ては

の答え合わせ

短い「せまい」では抽象的でわからないので、**具体的な基準**を示すこと

望

④中心に寄せ

王

③たて画は短

希

三つの部分の組立て方の原

希

内の部分を右によせる

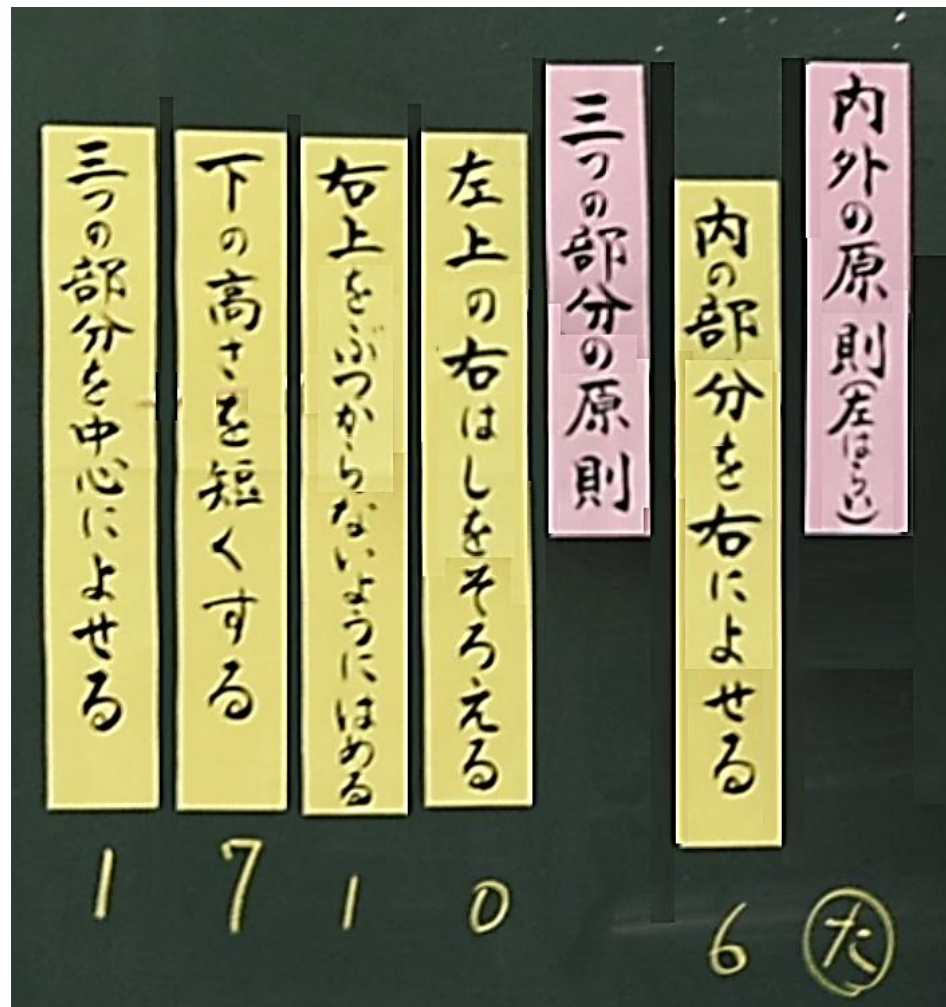
内外の組立て方の原則

「試書の答え合わせ」

自己課題が明確になる

※自分で気がつくので指摘されたのではない

# 子どもたちの実態を確認する



全12人



# 原則に当てはめて「試書」を確かめる

手本はノートの代わり  
書き込むことで、自分の目標を立てる、自己課題を解決する力を育てる



原則を

確かめる

自分で確かめる力、自分で学ぶ力、  
自分で考える力を育てる

# 「見通し」を持って二枚目を書く

組立方(内外・三つの部分)	
まとめ書き	①た

希	②二
望	
王	

④中心に寄せる(全体)

望


④中心に寄せる（全体）

王

③ たて画は短く（下部）

亡月

②月を間に入れる（右上部）



① 右端をそろえる（左上部）

## 三つの部分の組立て方の原則

希

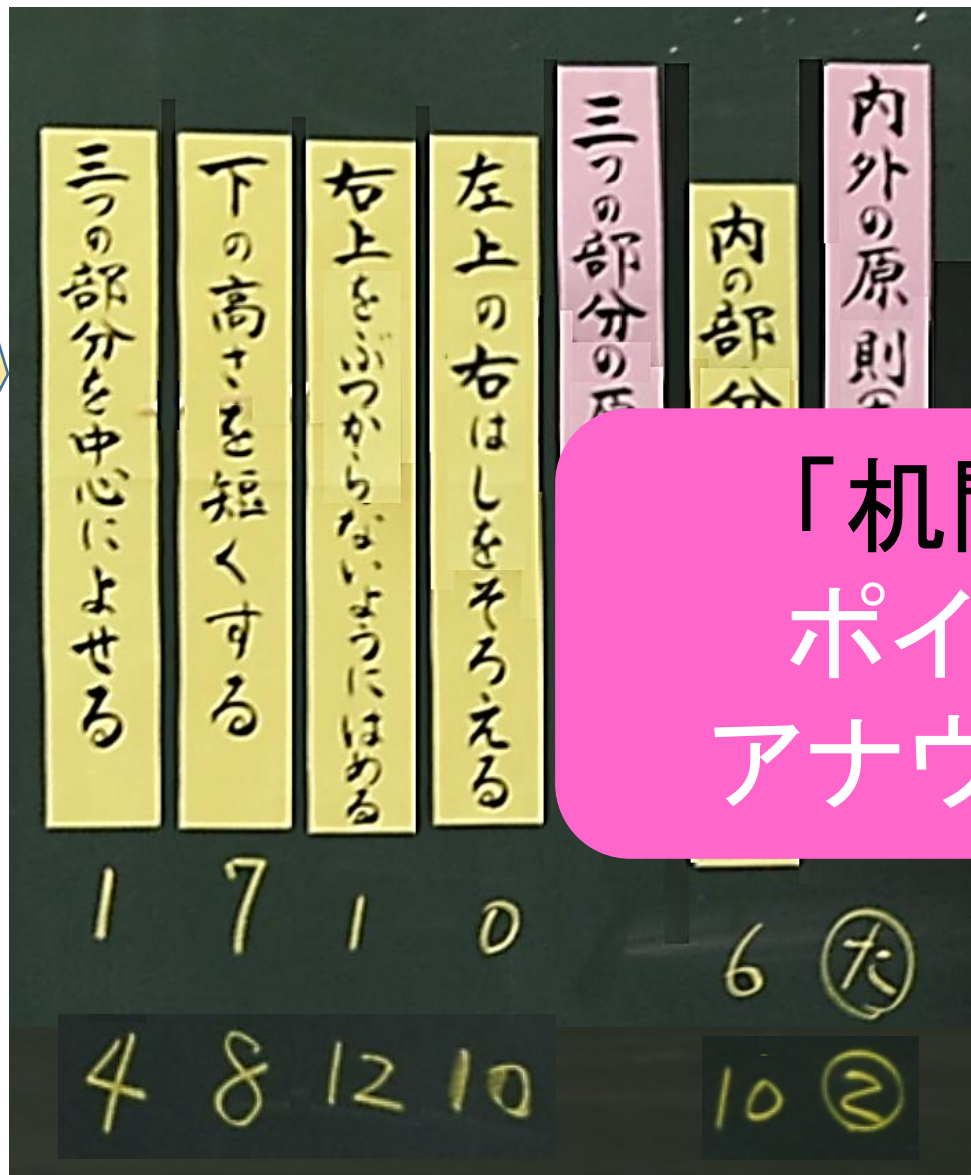
内の部分を右によせる

## 内外の組立て方の原則



## 「見通し」を持って二枚目を書く

試書」と比較できるように  
示すことで、**上達を実感**させる。

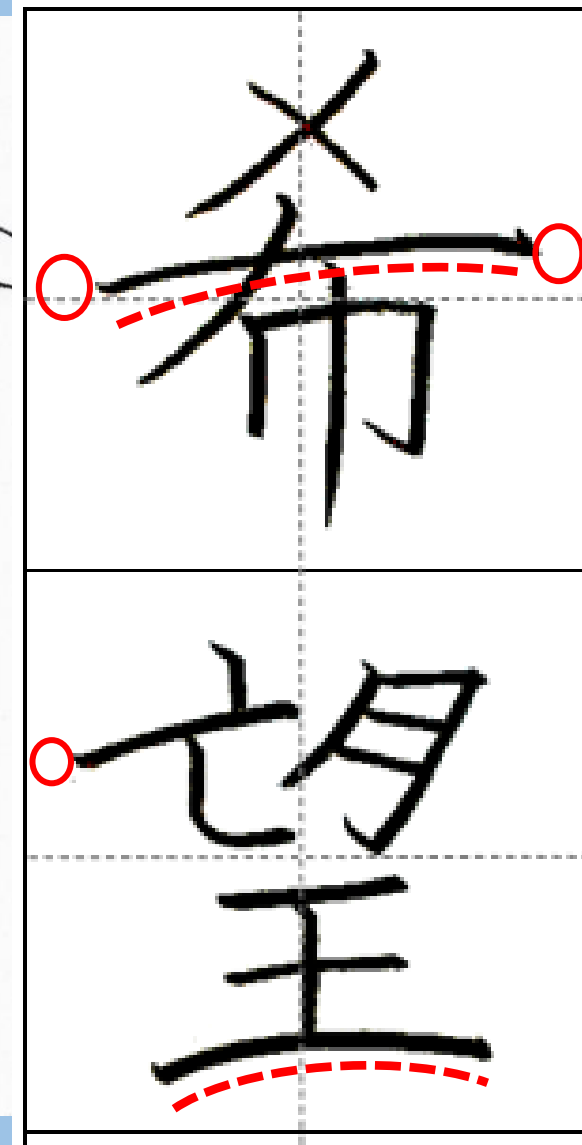
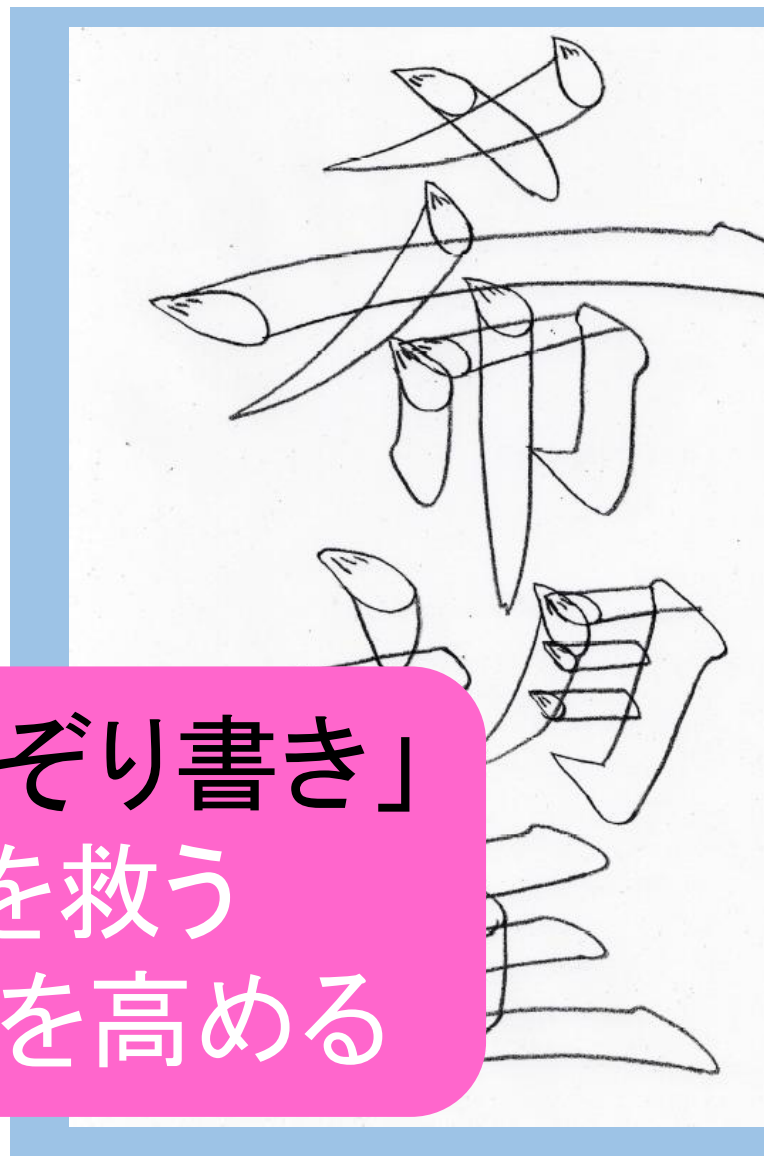


「机間指導で評価する」  
ポイントに沿って褒める  
アナウンス効果を活用する

全12人

# かご字練習用紙とまとめ書き

氏 名		
組立方 (内外・三つの部分)		
まとめ書き	①ためし書き	
③三回目	②二回目	



「まとめ書きの前のなぞり書き」  
毛筆が苦手な子を救う  
成功体験をさせ意欲を高める

「試書とまとめ書きの比較」  
自分の成長を実感させる  
達成感と意欲を高める



必ず **ねらい** に  
**沿って** 振り返る  
内外・三つの部分  
の原則について向  
上した点を発表さ  
せる。

## 振り返り



試し書き



まとめ書き

# 2時間目・既習事項を活用して自己課題の解決

## 単元②既習事項の活用



2個



4個



3個



# 主体的に学ぶ「ループ学習法」

「わりばし」を  
使用し、自分で  
確かめる



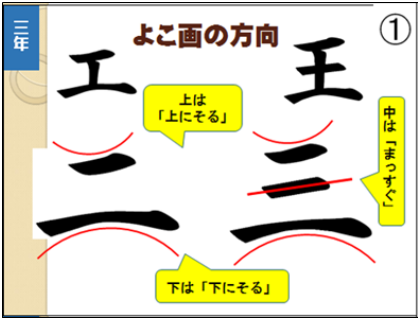
手本」に書き込んで、  
オーダーメイド手本  
を作り自分の目標を  
立てる

課題発見解決学習  
個別最適な学習

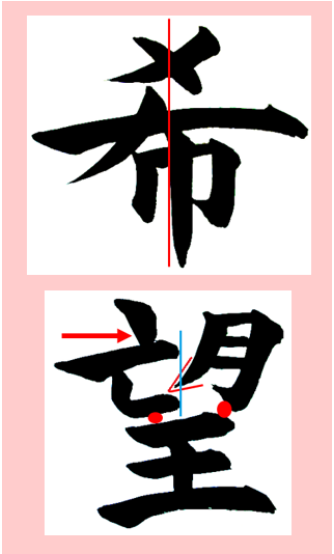
「確かめ」のでき  
ていなかったこ  
とに気をつけて  
練習する



自分の目標に気を  
つけて練習する



# 自己課題の改善①



内外の原則

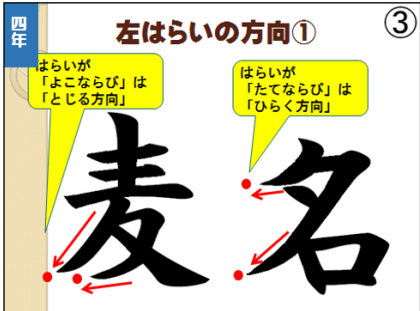
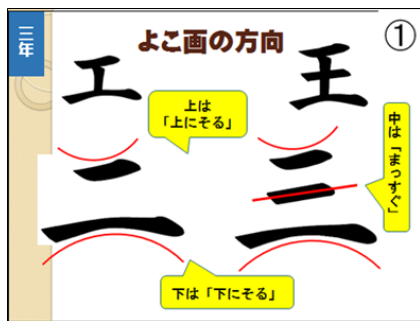
1つ

三つの部分の原則

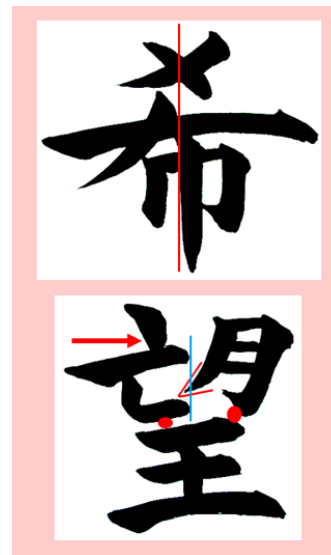
4つ



## 単元②既習事項の活用



# 自己課題の改善①

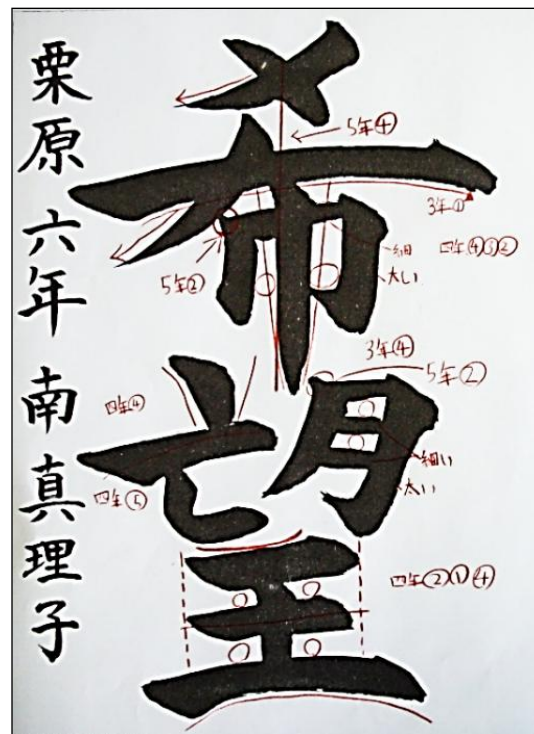


## 内外の原則

15

## 三つの部分 の原則

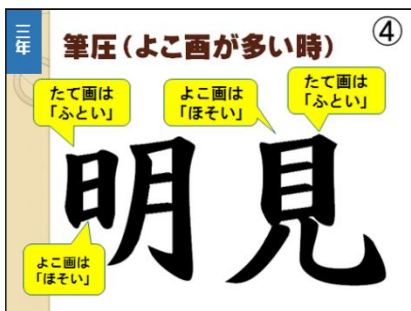
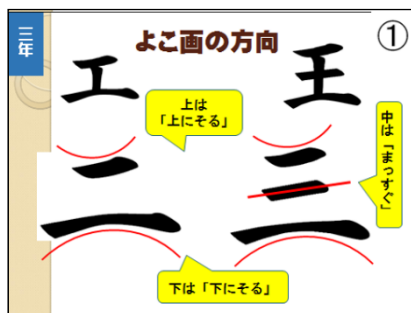
4



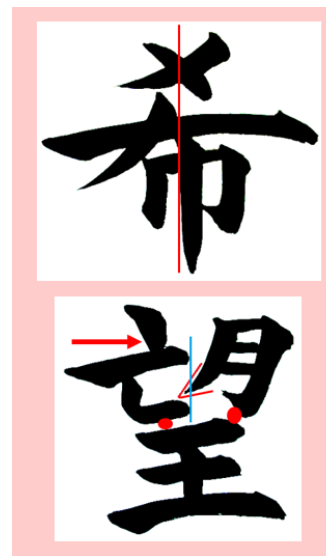
栗原六年南真理子



## 単元②既習事項の活用

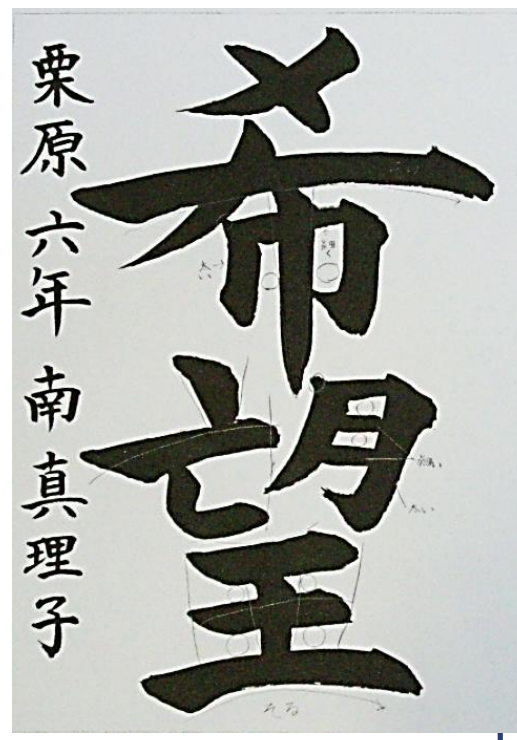


## 自己課題の改善③



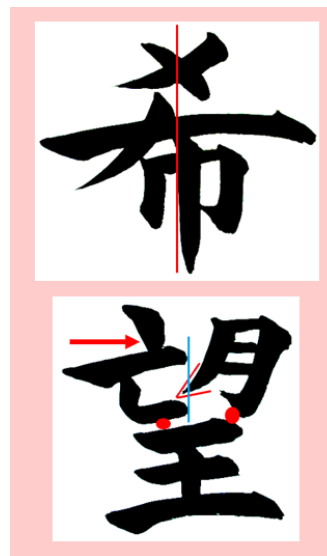
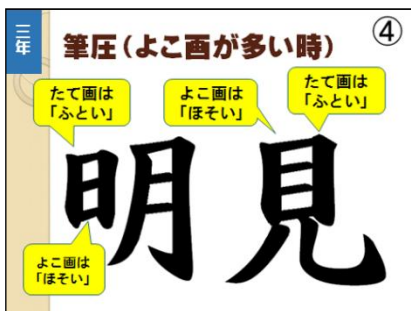
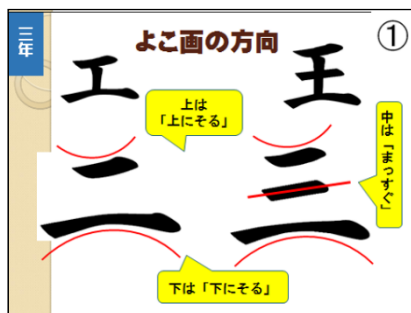
内外の原則

三つの部分  
の原則



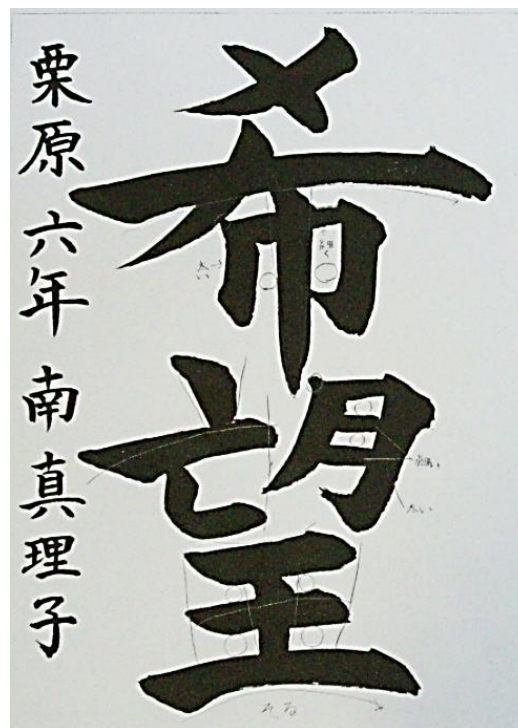


## 自己課題の改善③

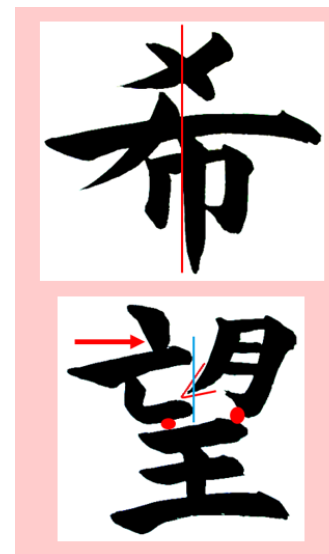
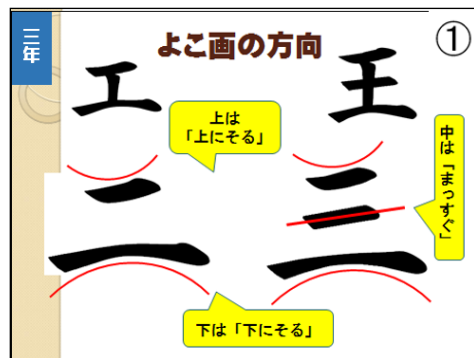


内外の原則

三つの部分  
の原則



# 自己課題の改善④

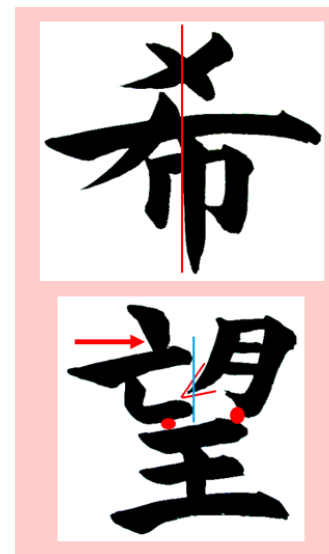
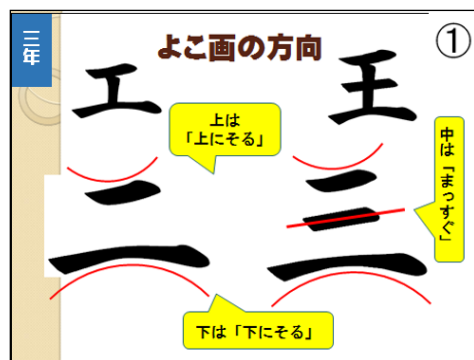


内外の原則

三つの部分  
の原則



# 自己課題の改善④

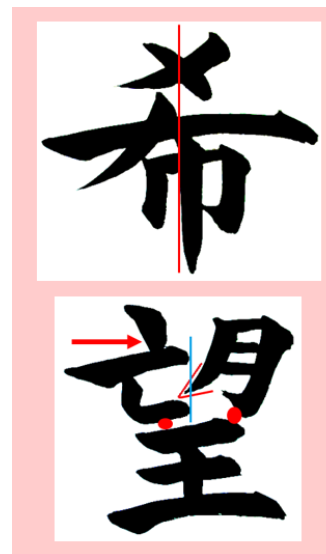
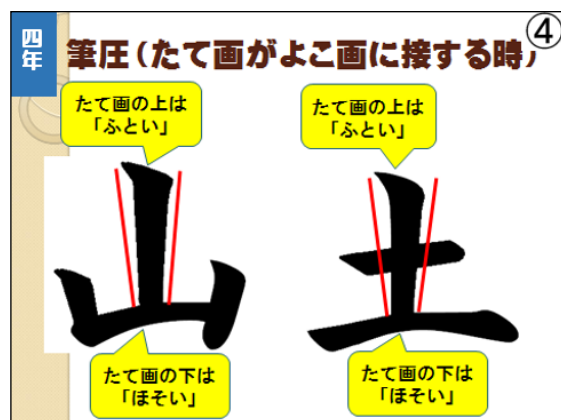
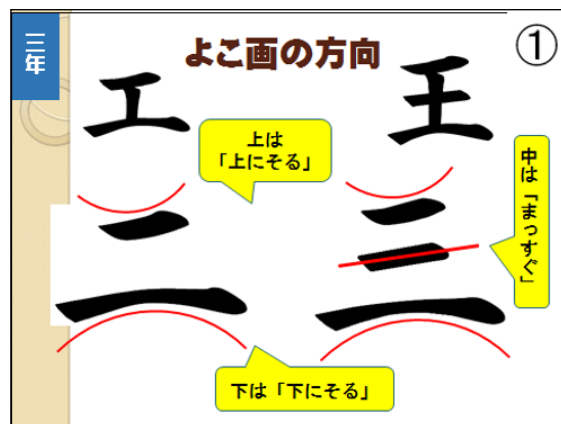


内外の原則

三つの部分の原則



# 自己課題の改善⑤



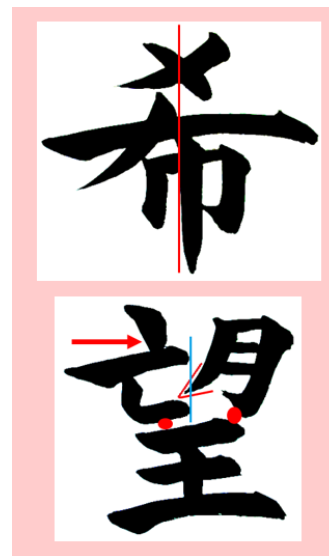
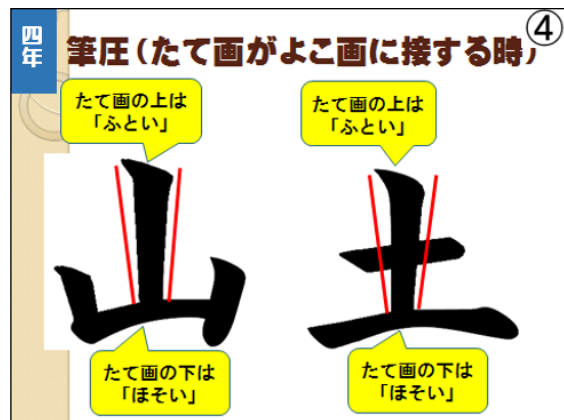
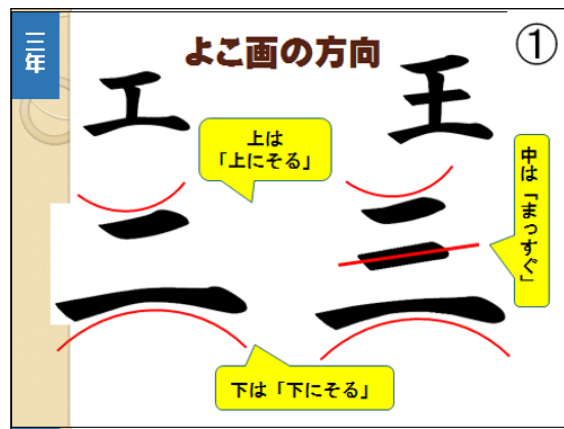
内外の原則

三つの部分  
の原則



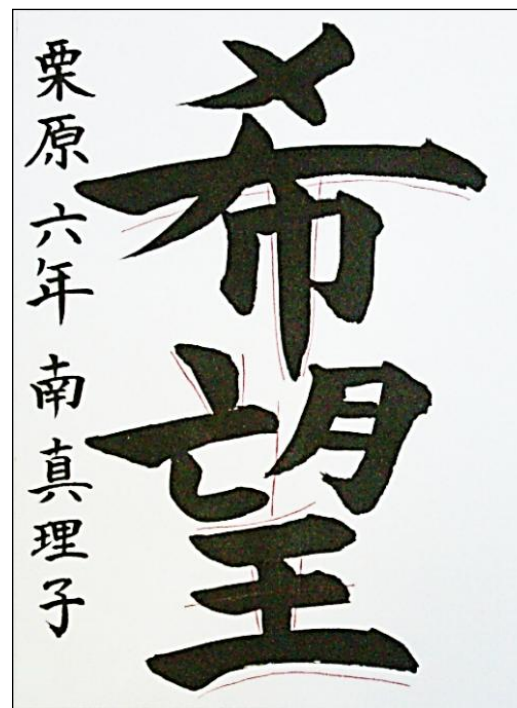


# 自己課題の改善⑤

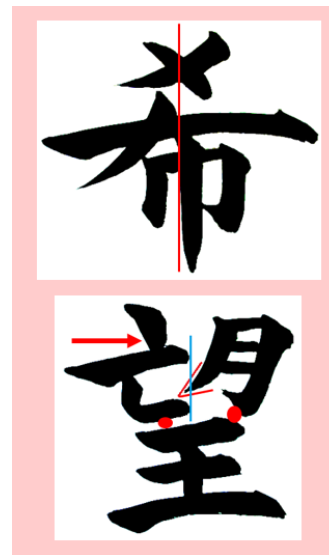


内外の原則

三つの部分  
の原則

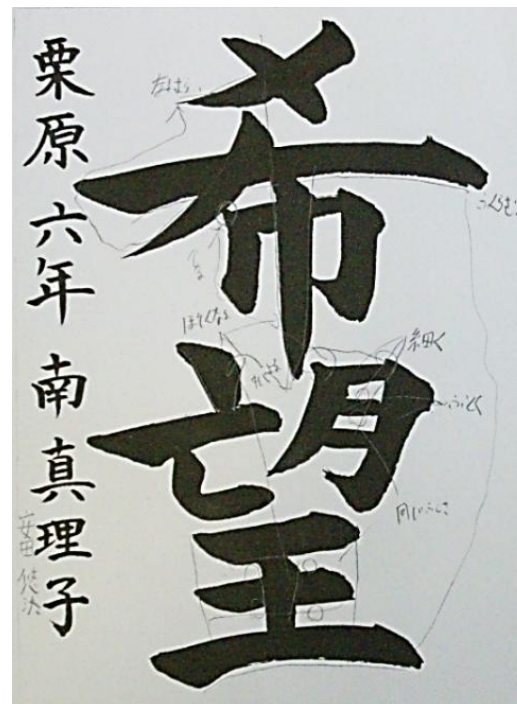


# 自己課題の改善⑧



内外の原則

三つの部分の原則

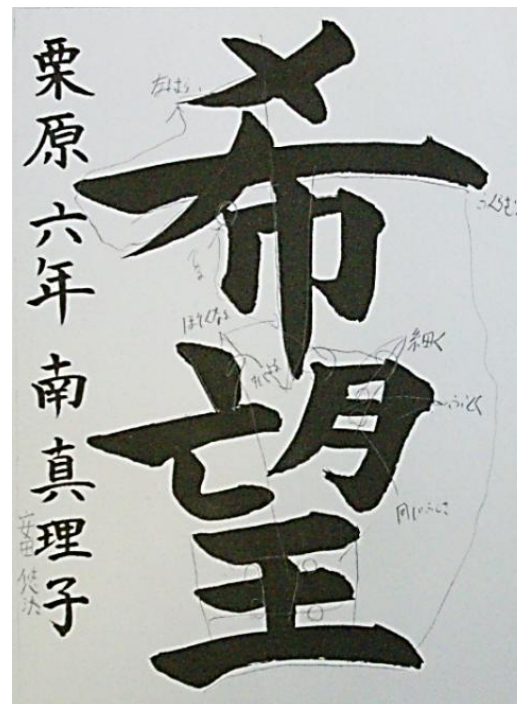


# 自己課題の改善⑧

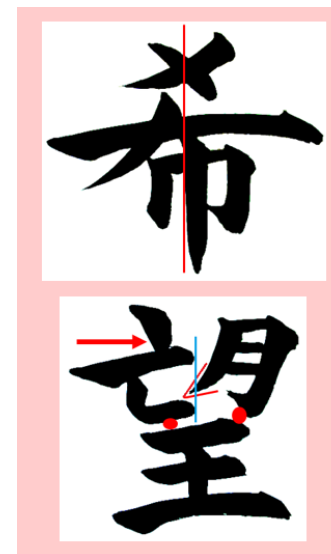
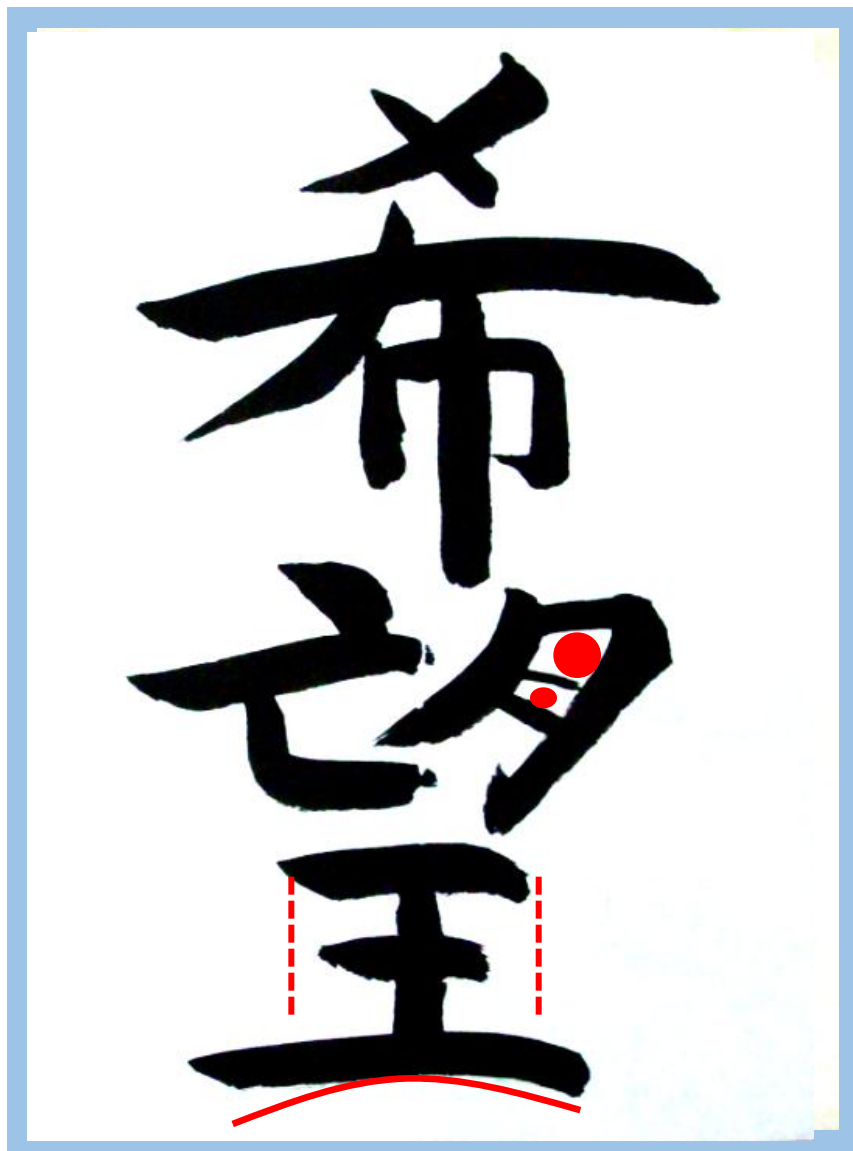
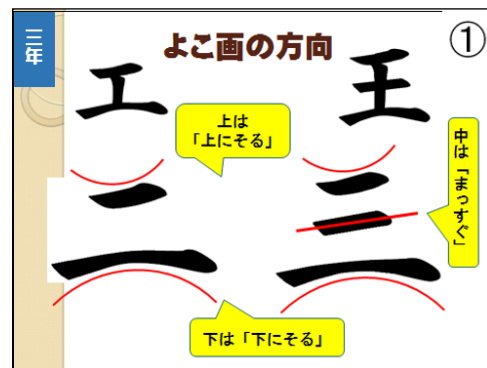


内外の原則

三つの部分  
の原則

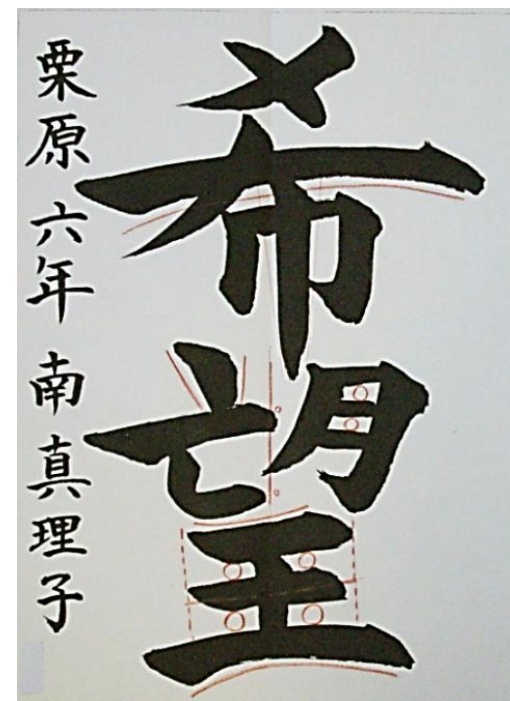


# 自己課題の改善⑨



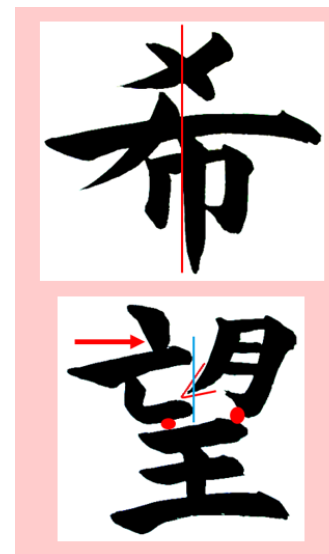
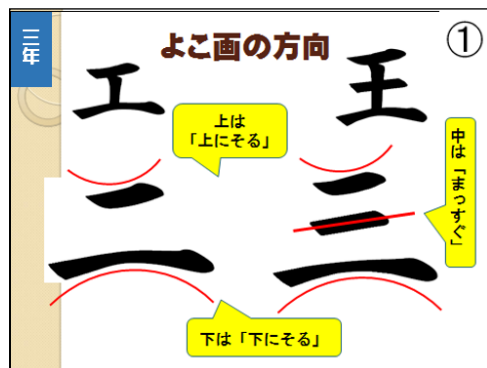
内外の原則

三つの部分  
の原則



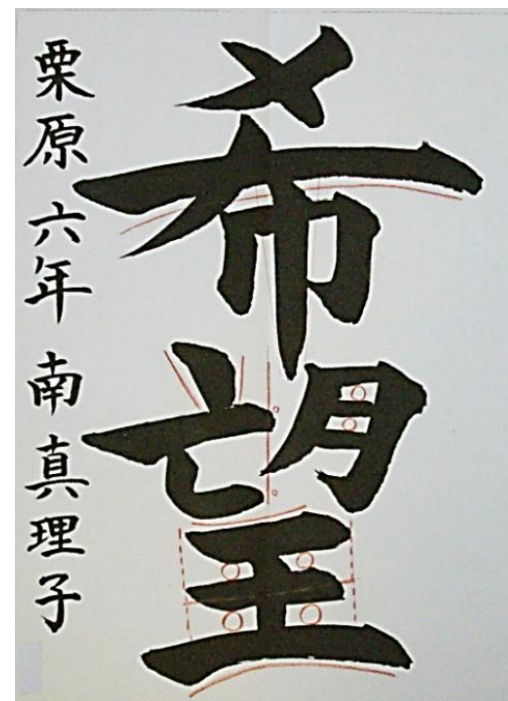


# 自己課題の改善⑨

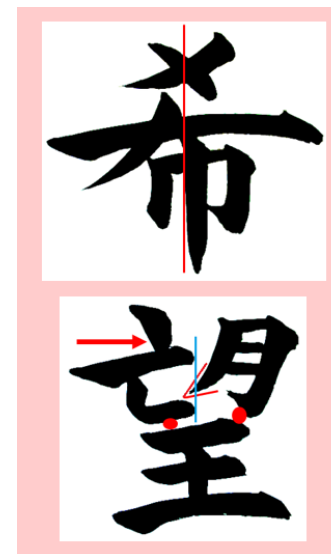
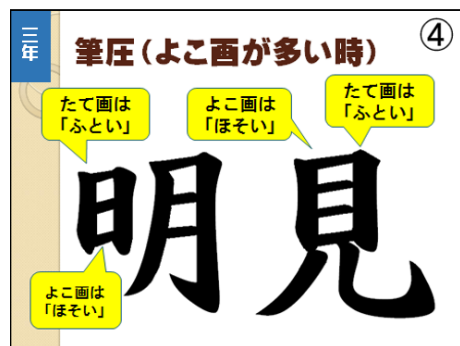


内外の原則

三つの部分  
の原則



# 自己課題の改善⑪

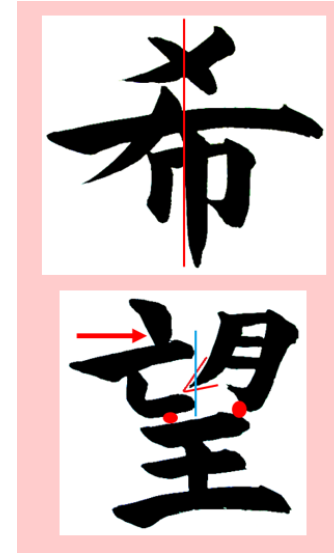
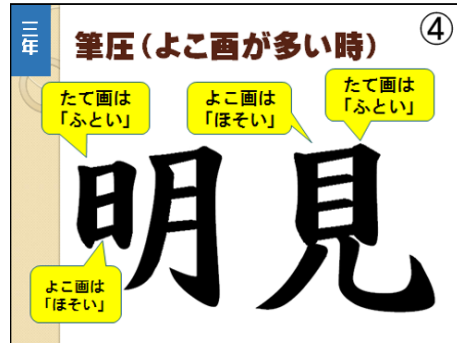


内外の原則

三つの部分  
の原則



## 自己課題の改善⑪



内外の原則

三つの部分  
の原則

ループ学習で  
子どもの字は  
必ず変わる



単元③硬筆で他字に応用

3時間目は硬筆で他字に応用・日常化

書写の原則（きまり）を「他の字」に生かす

単元③硬筆で他字に応用

本日の研修で新たに知ったこと、私が感じたこと

組立方(内外・三つの部分)	
三つの部分の原則	内外の原則
望	希
整	庫
努	岸
熱	産
貿	原
賛	屋
資	病
染	座



# 中学校でなぜ「行書」を学ぶのか

日本

行書(ぎょうしょ)  
中学校書写で学習

小学校と比べて学習する内  
容「スピード」が飛躍的に大  
きくなるので、**ノート**を速く  
**書く必要があるため**

白鳥はかなしから  
ずや空の青  
海のあをにも染ま  
ずただよふ

# 「行書」の6つの特徴とは



## 行書の基本原則

# ①行書には「離れる部分」がある ＜主に2つ＞

日

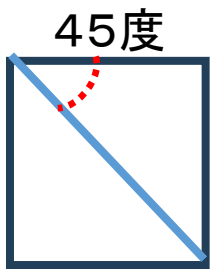
①四角形の  
左上

② 四角形の  
中の横画の右

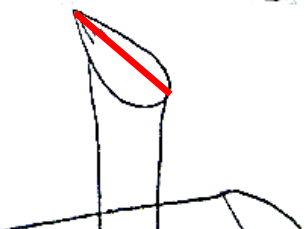
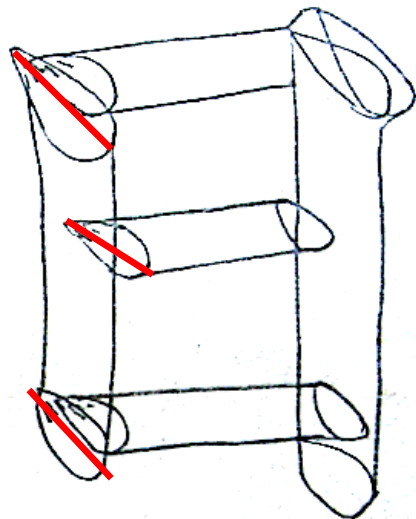
画を離すことで  
少し画が短く  
なり  
その分速く書  
くことができる

行書の基本原則①  
接し方

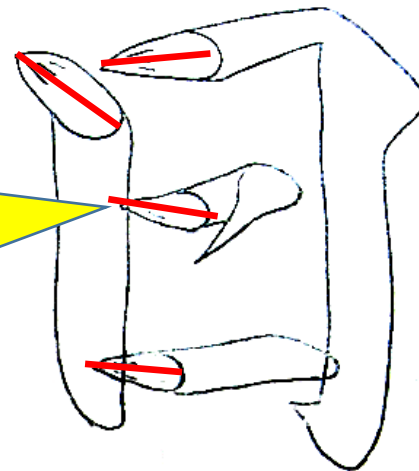
## ②「始筆」の違いを確認しよう



楷書」はすべての画が  
「ななめ方向」

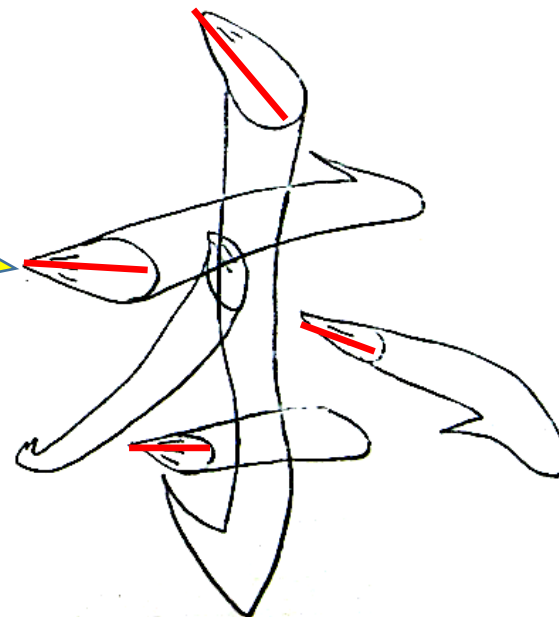


横画」は  
「おこ方向」



行書」の始筆の角度は  
「定ではない」

横画」は  
「おこ方向」



行書の基本原則②  
始筆の方向

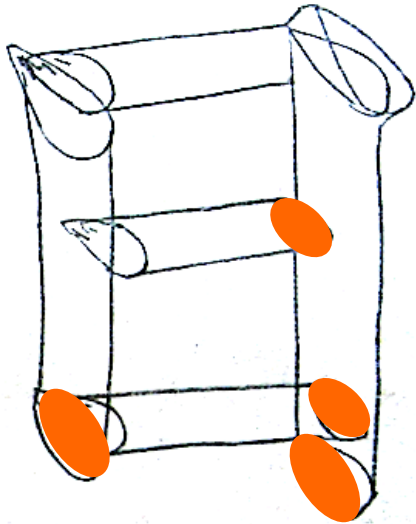


### ③「終筆」の違いを確認しよう

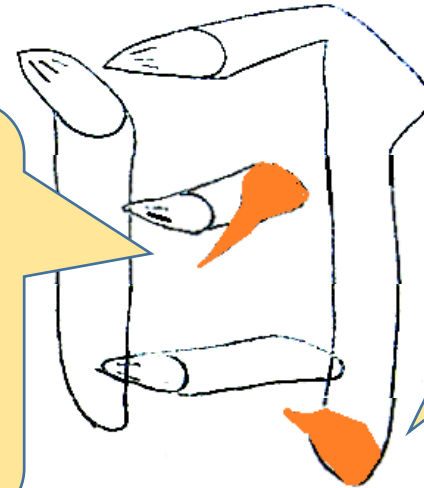


# 横画・たて画の「終筆」の違いは

楷書」は横画が  
「**正め**」になっている

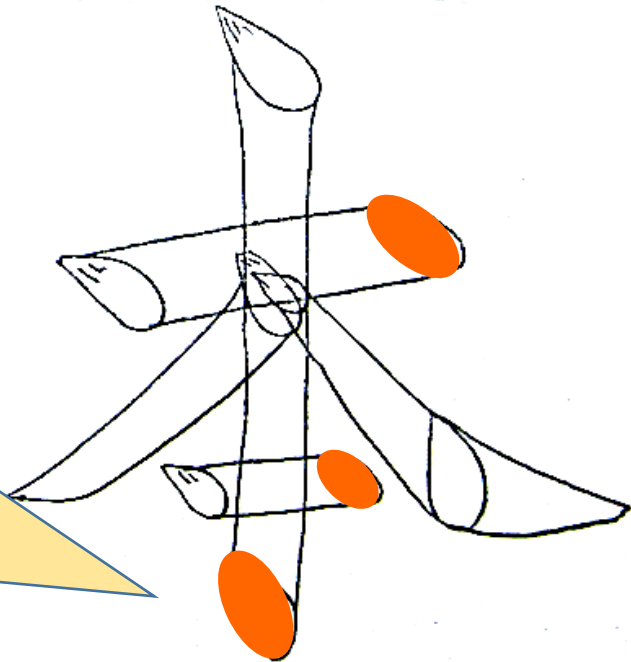


横画」は  
「**正め**」た後に  
「**はね**」

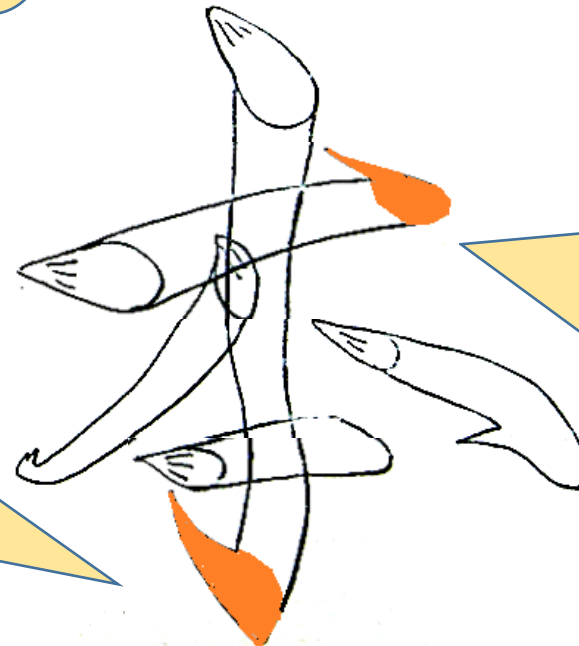


たて画」は  
「**正め**」た後に  
「**はね**」

楷書」はたて画が  
「**正め**」になっている

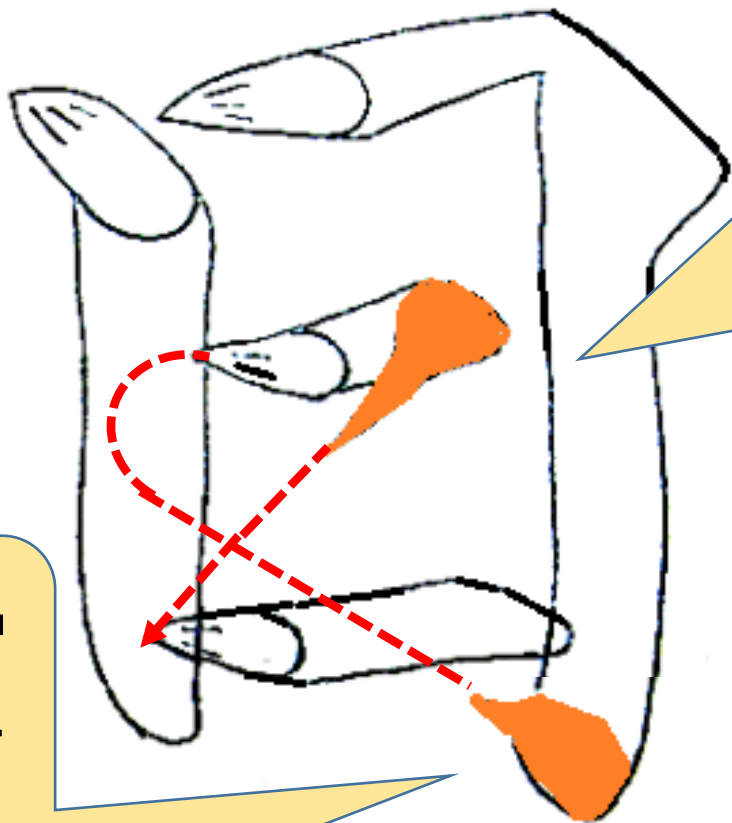


たて画」は  
「**正め**」た後に  
「**はね**」



横画」は  
「**正め**」た後に  
「**はね**」

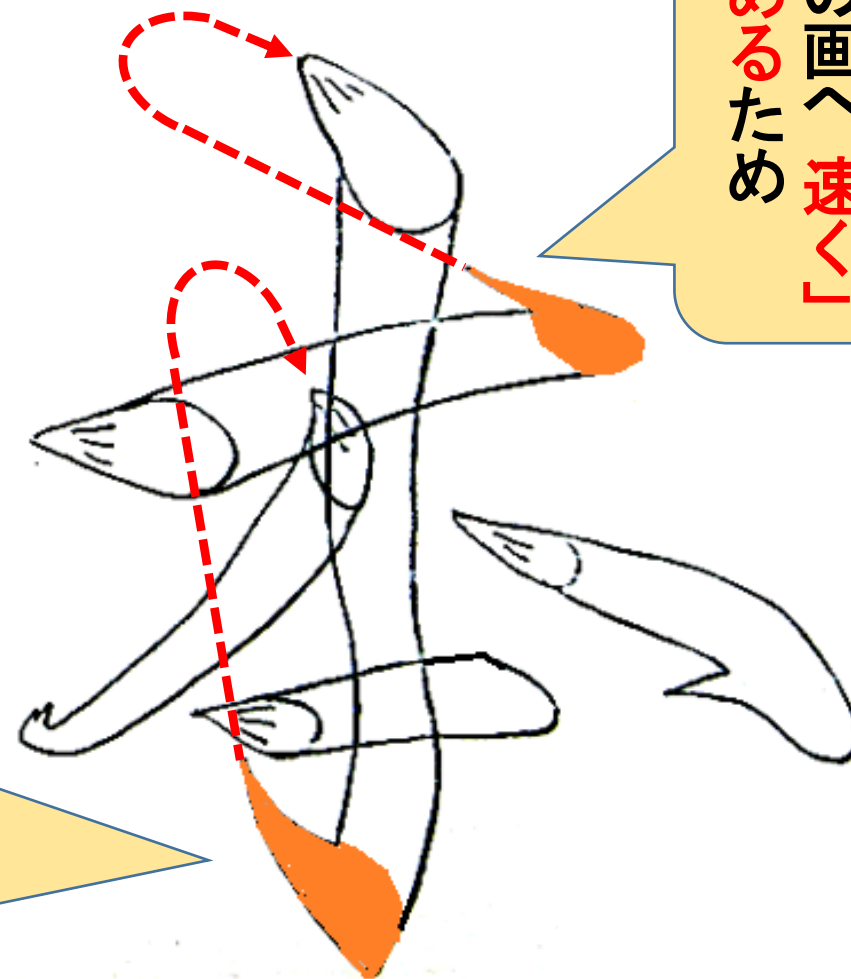
# なぜ「終筆」をはねるのか



横画「から  
次の画へ速く」  
進めるため

たて画「から  
次の画へ速く」  
進めるため

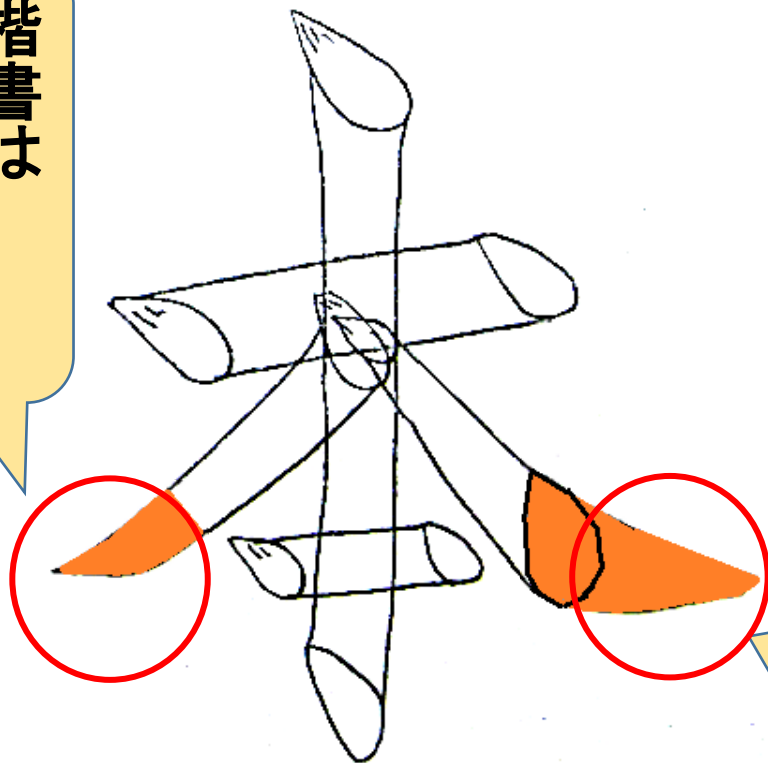
たて画「から  
次の画へ速く」  
進めるため



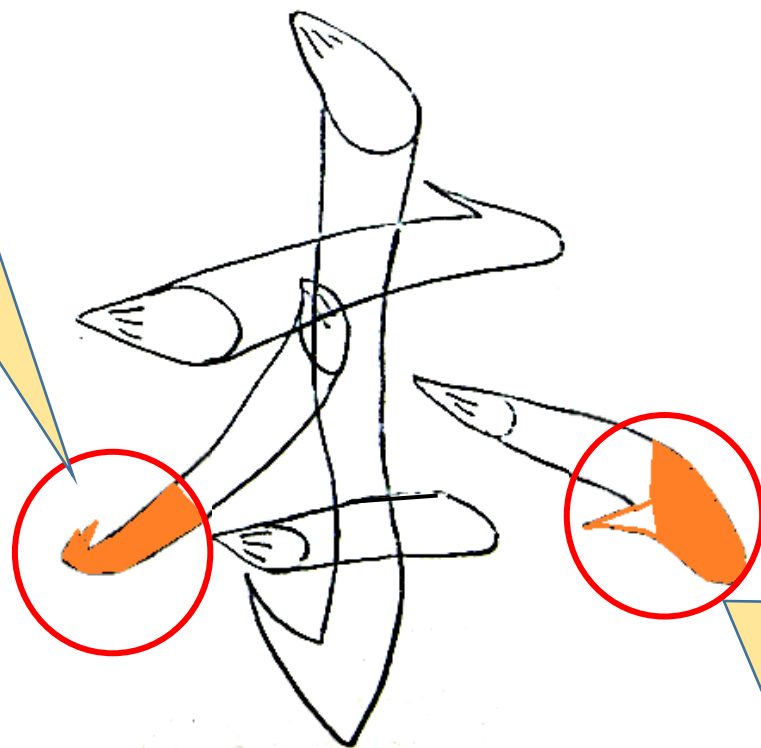
横画「から  
次の画へ速く」  
進めるため

# 「左はらい・右はらい」の「終筆」の違いは

楷書は  
左はらい」を  
はらう



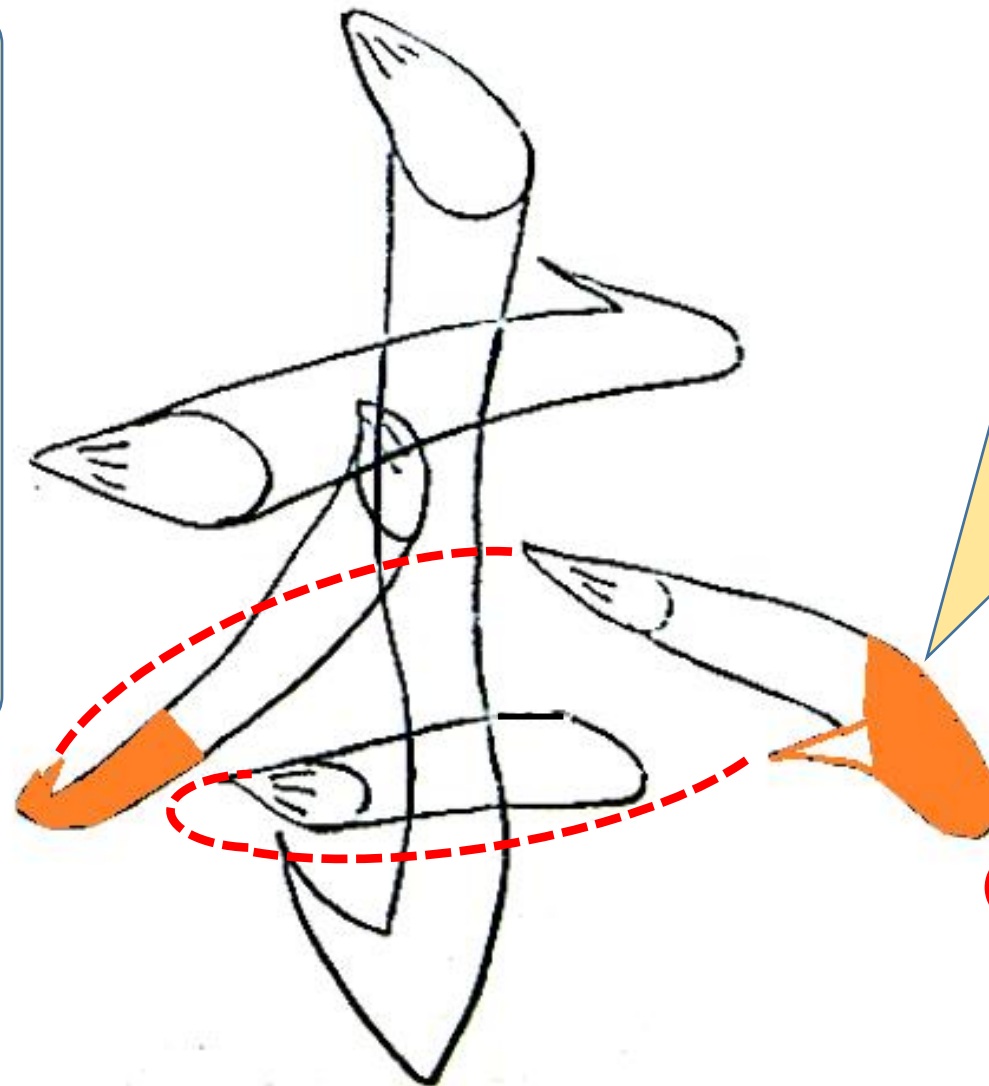
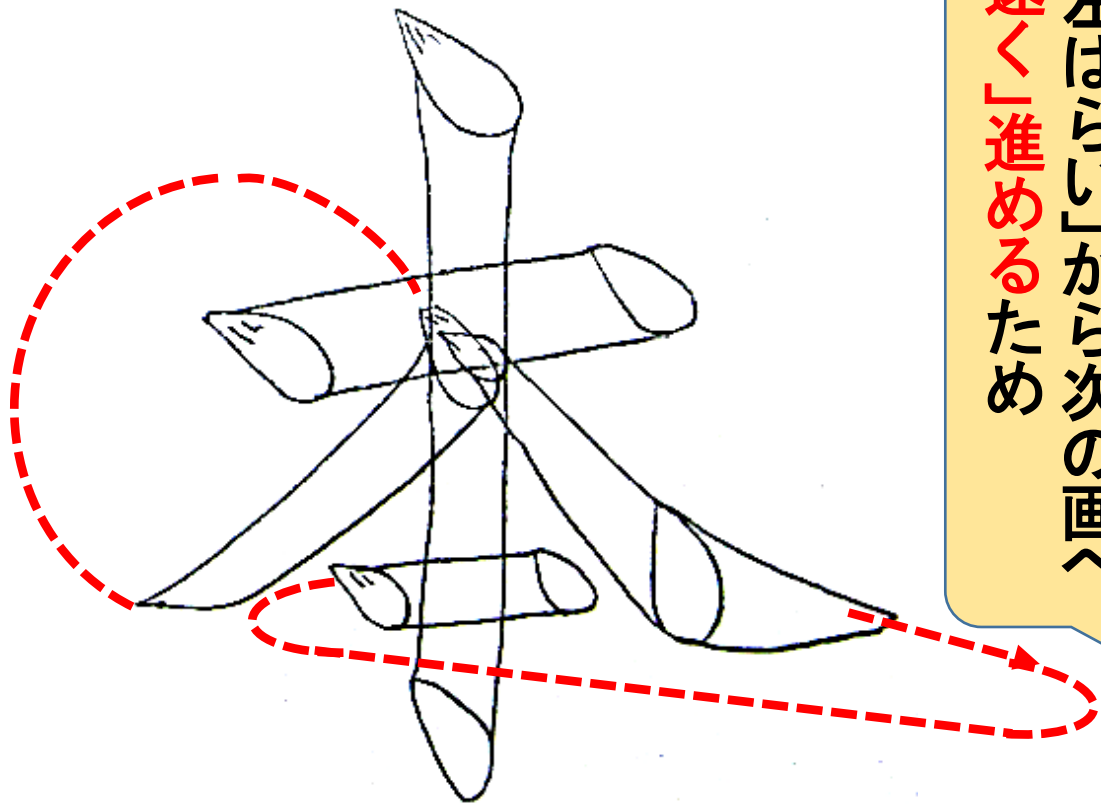
行書は  
左はらい」の先を  
止めた後  
小さくはねる」



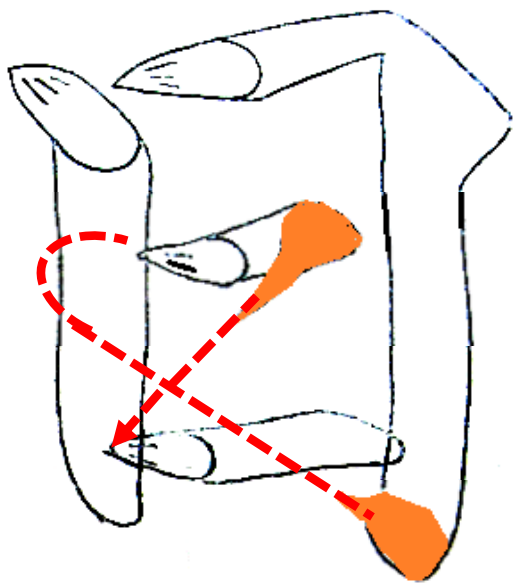
楷書は  
右はらい」を  
はらう

行書は  
右はらい」を  
止めて「小さ  
くはねる

# なぜ「終筆」を止めた後は**はねる**のか



# 「終筆の変化」のまとめ



行書の基本原則③  
終筆（止めてはねる）



④ 右はらいの終筆を止めてはねる

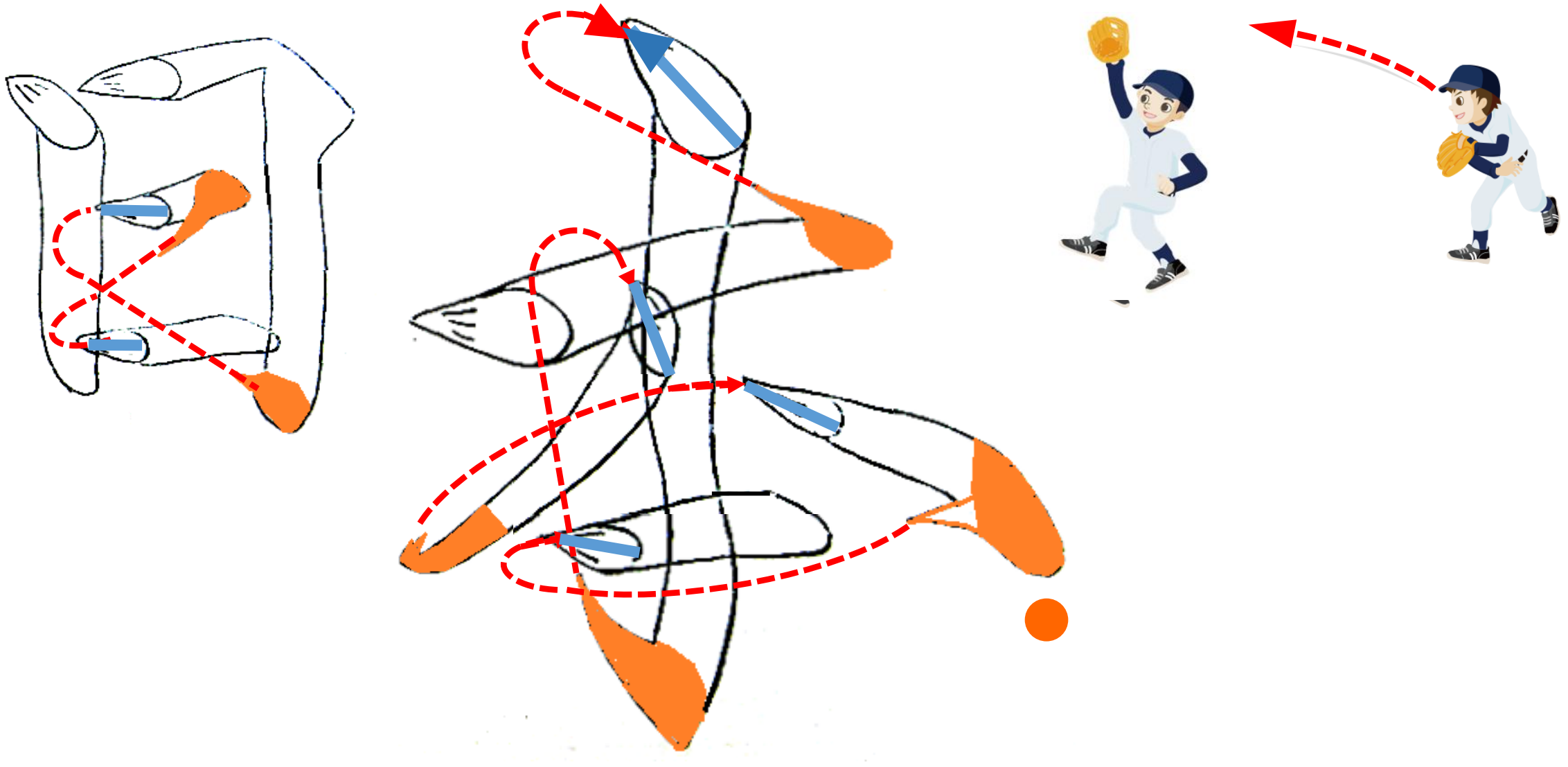
③ 左はらいの終筆を止めてはねる

② たて画の終筆を止めてはねる

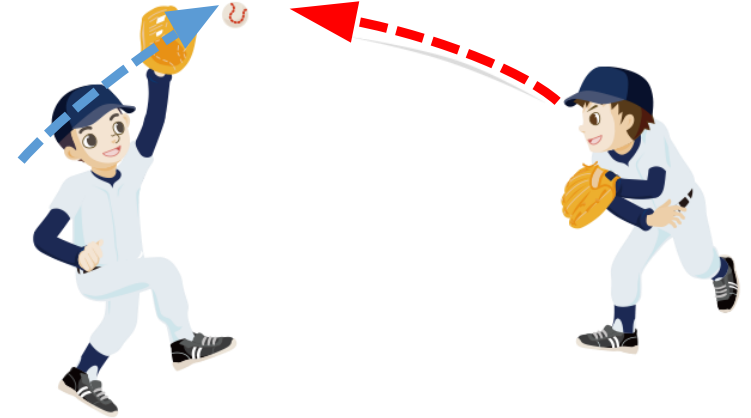
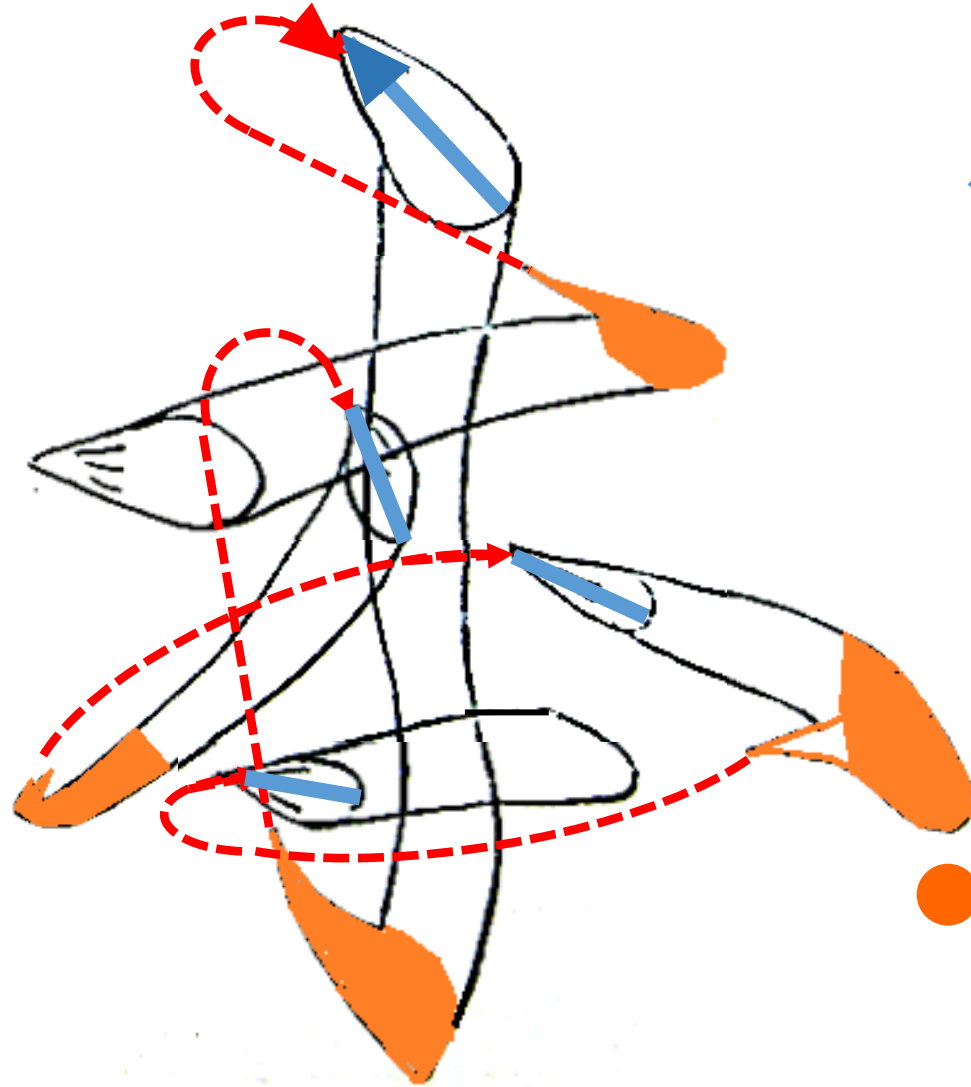
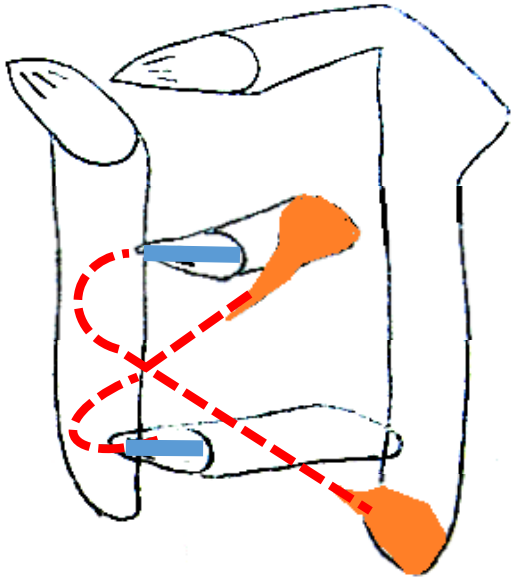
① 横画の終筆を止めてはねる



# なぜ「始筆」や「終筆」を変化させるのか

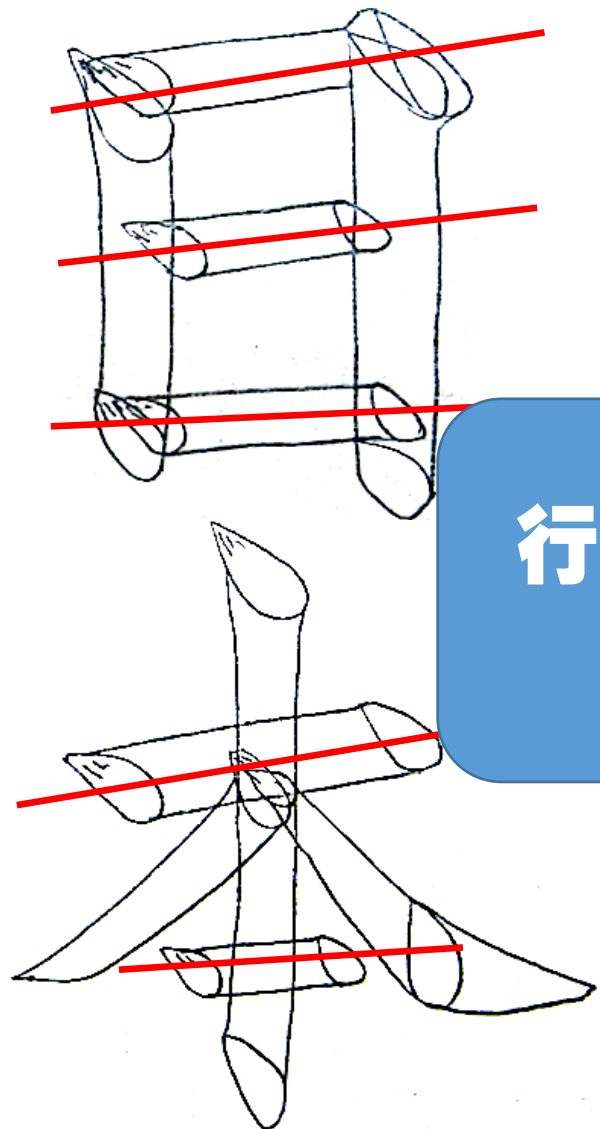


# なぜ「始筆」や「終筆」を変化させるのか

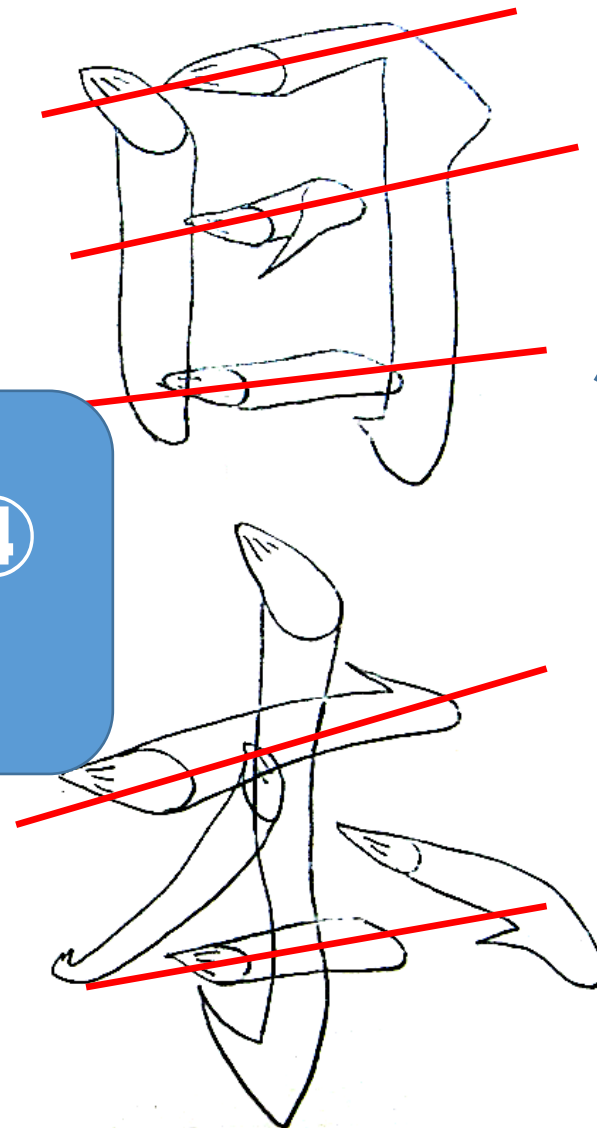


前の画から次の  
画へ流れるよう  
につながって  
**速く書く**ことが  
できる

# ④「横画」の方向の違いを確認しよう



行書の基本原則④  
右上がり



行書」の横画は  
全て「右上がり」が強い

# ⑤「丸み」の出る部分（主に3つ）

③ 長い「画」も「丸み」

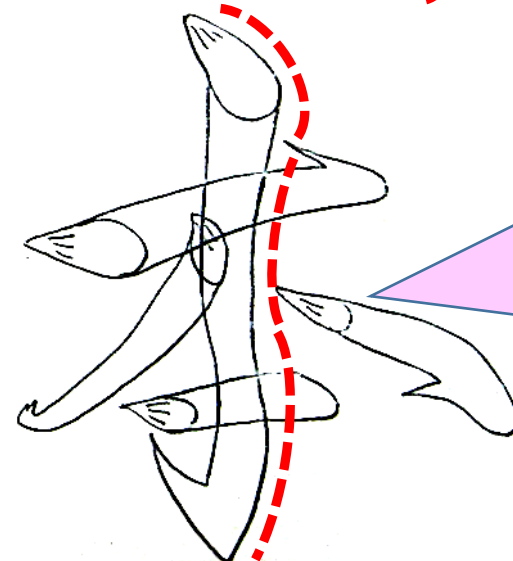
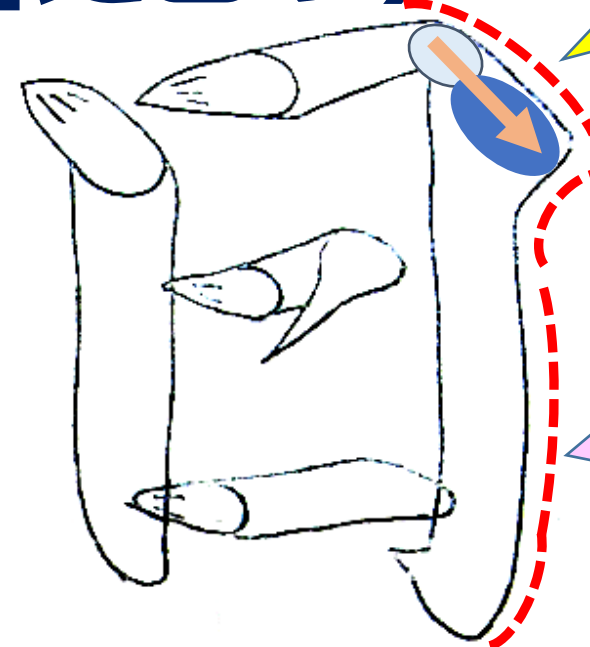
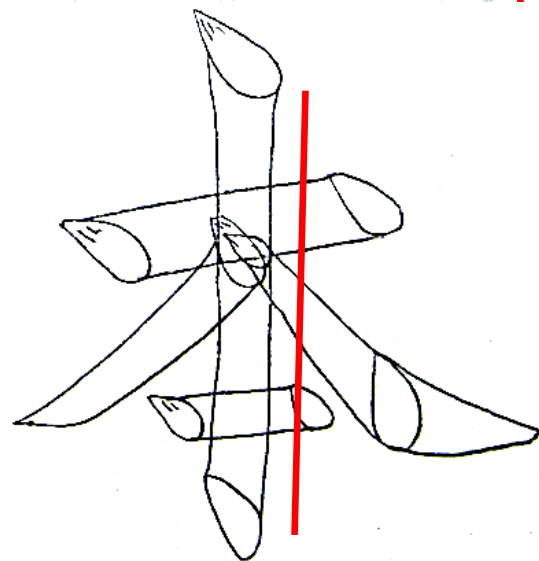
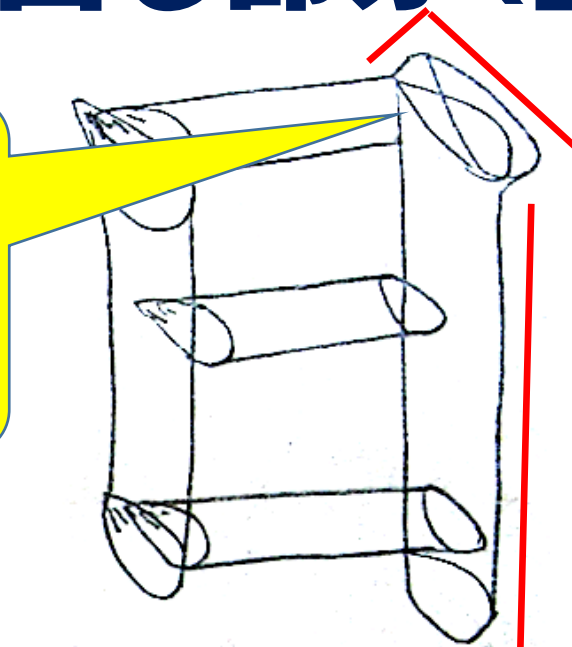
楷書は上にでっぱり

① 右下に筆をずらせ  
て「丸み」

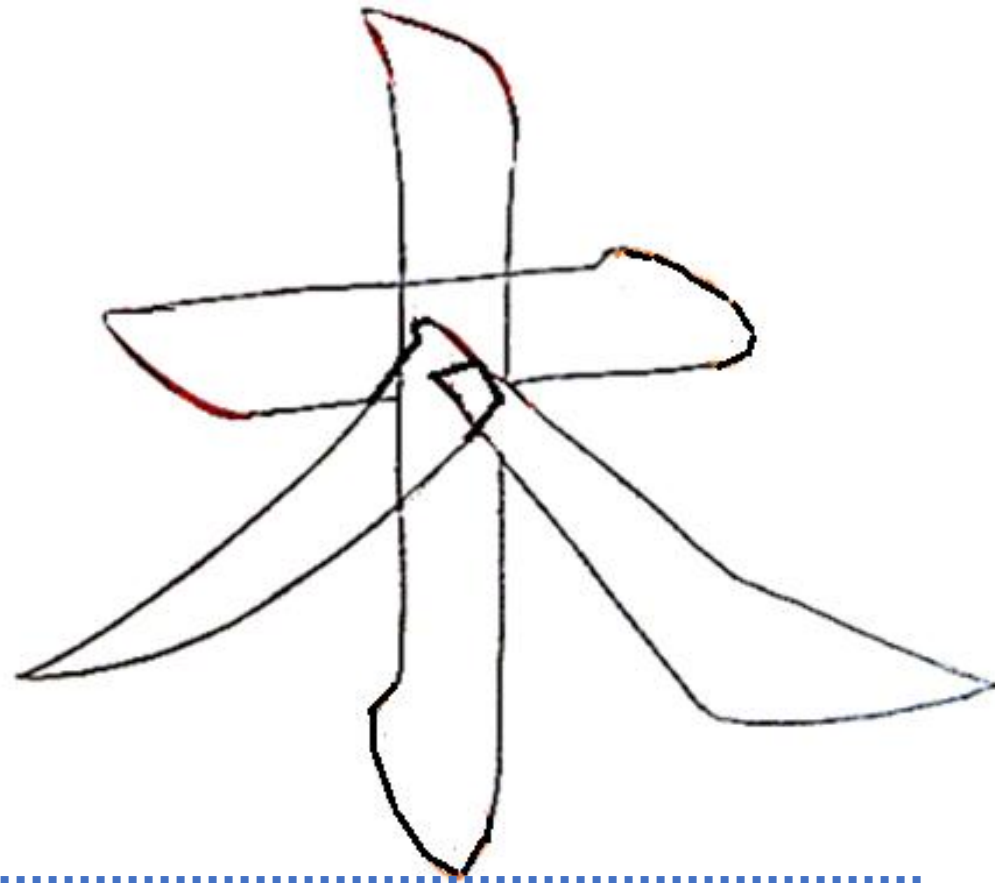
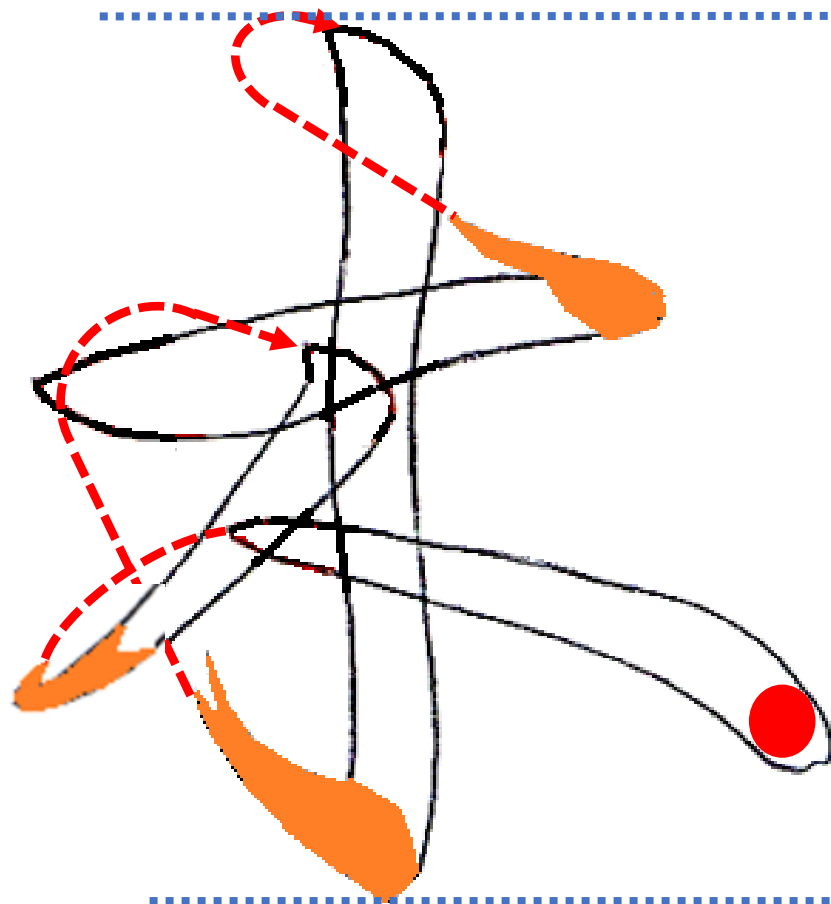
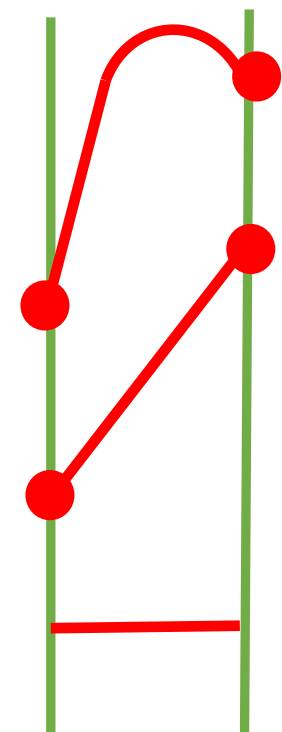
② 長い「画」は「(s)字」

長い「画」は「(s)字」

行書の基本原則⑤  
丸み



# なぜ「右に」上げて「丸み」をつけるのか？



⑥「太さ」の変化を確認しましょう

三 本 日



# 細くなるところは主に3つ

②「長いたて画」の中心

①折れる前

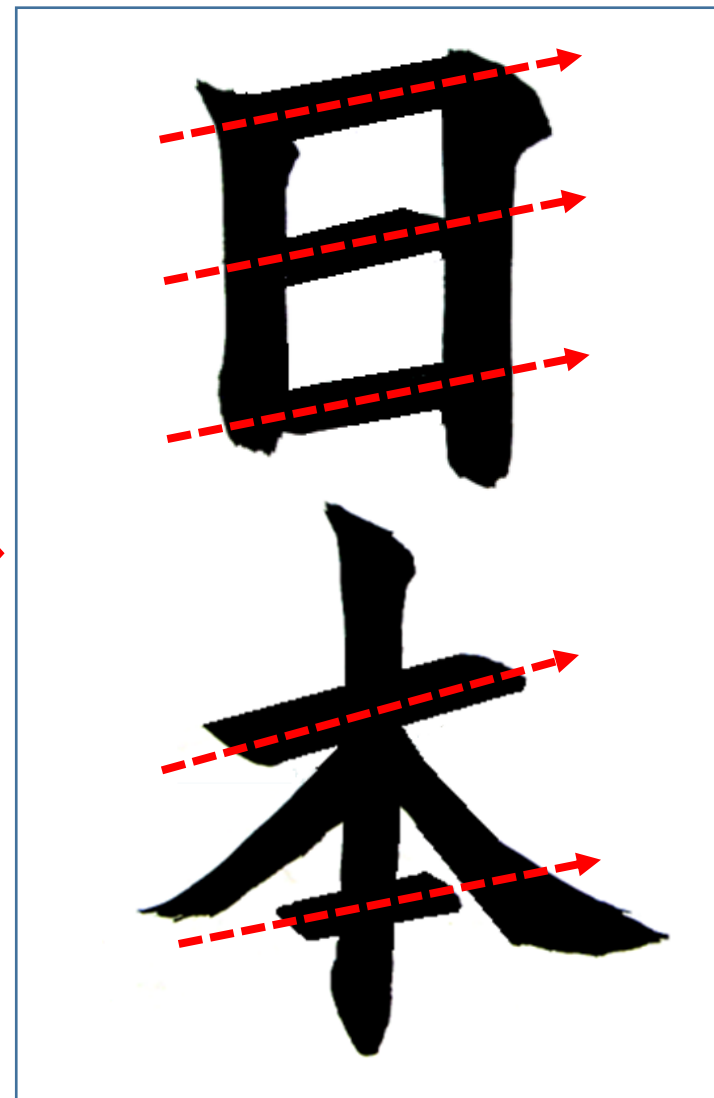
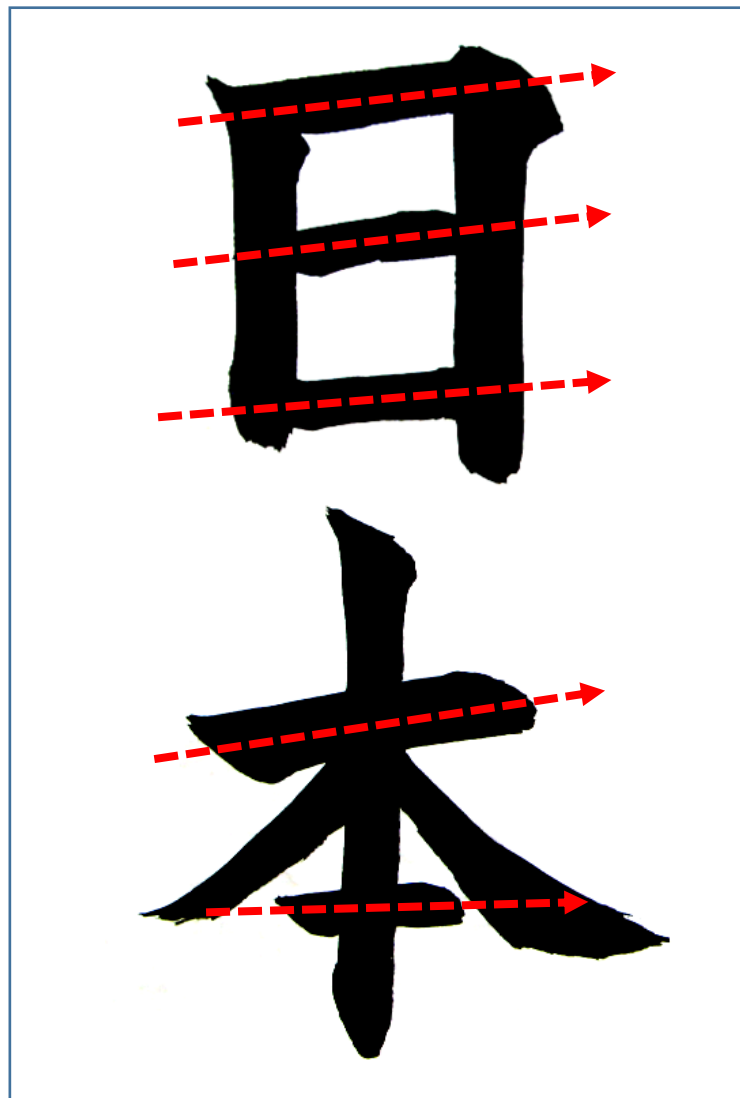
③「長い横画」の中心

行書の基本原則⑥  
太さの変化

# 「行書」の基本原則①「右上がり」

## 行書の 基本原則

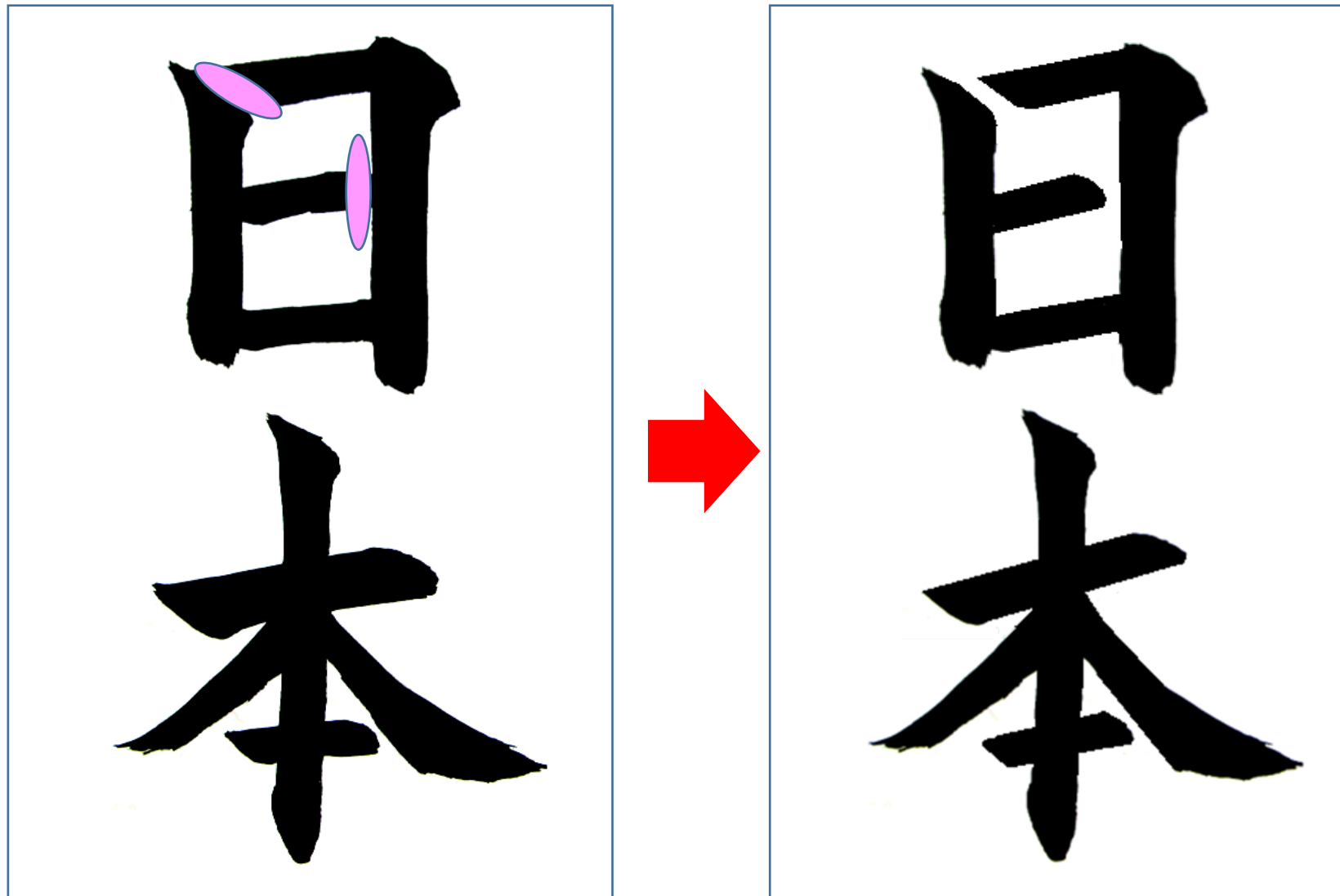
- ① 右上がり
- ② 接し方
- ③ 終筆
- ④ 始筆
- ⑤ 太さ
- ⑥ 丸み



## 「行書」の基本原則②「接し方」

### 行書の 基本原則

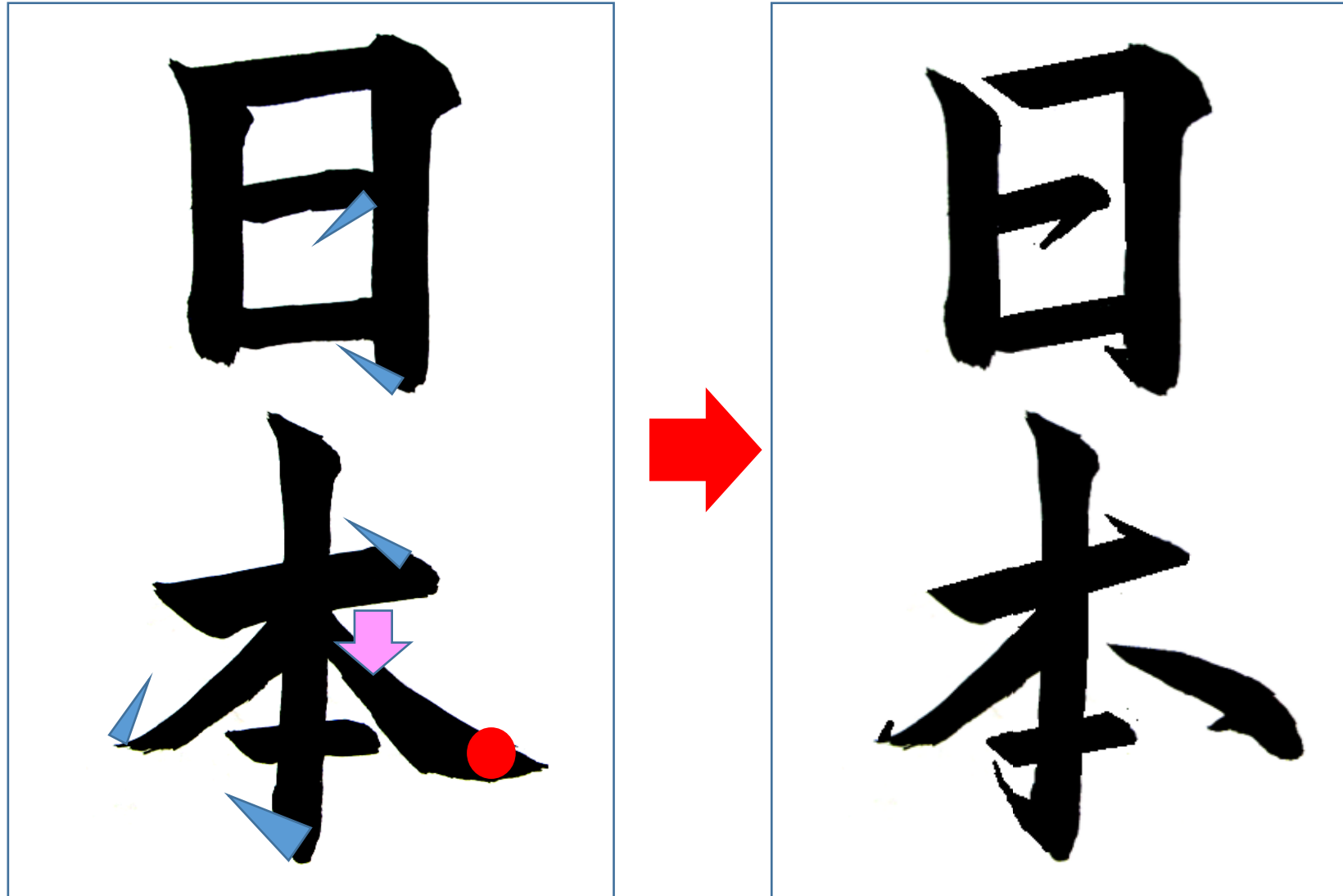
- ① 右上がり
- ② 接し方
- ③ 終筆
- ④ 始筆
- ⑤ 太さ
- ⑥ 丸み



# 「行書」の基本原則③「終筆」

## 行書の 基本原則

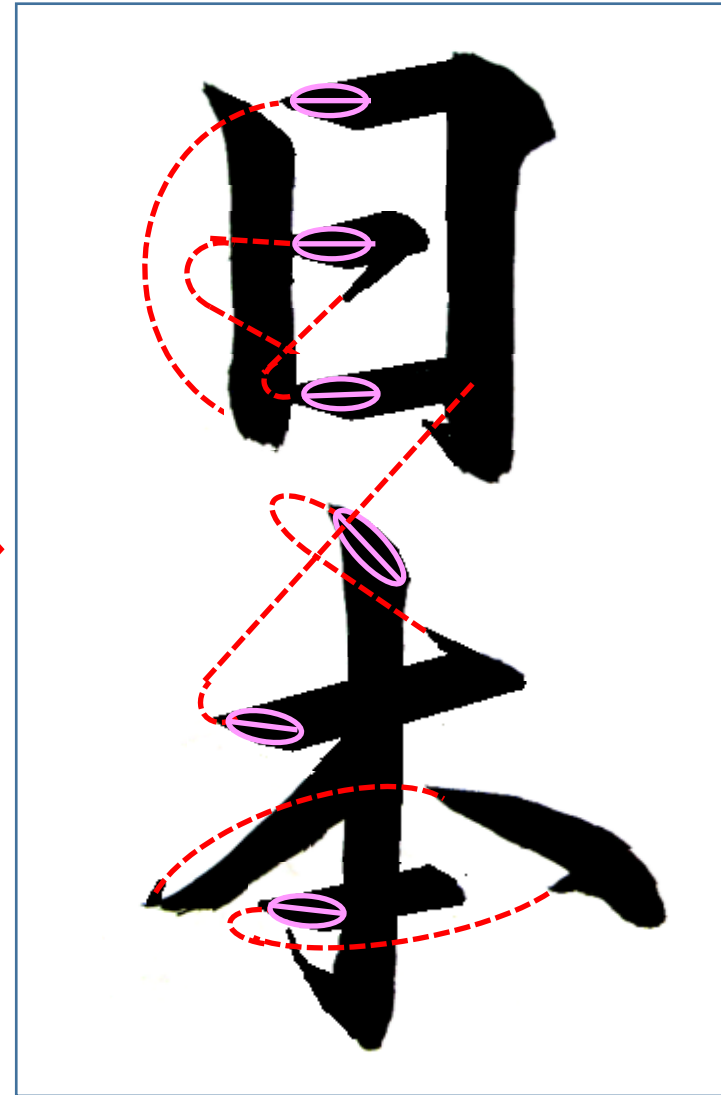
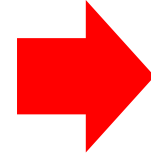
- ① 右上がり
- ② 接し方
- ③ 終筆
- ④ 始筆
- ⑤ 太さ
- ⑥ 丸み



# 「行書」の基本原則④「始筆」

## 行書の 基本原則

- ① 右上がり
- ② 接し方
- ③ 終筆
- ④ 始筆
- ⑤ 太さ
- ⑥ 丸み



# 「行書」の基本原則⑤「太さ」

## 行書の 基本原則

- ① 右上がり
- ② 接し方
- ③ 終筆
- ④ 始筆
- ⑤ 太さ
- ⑥ 丸み

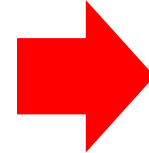
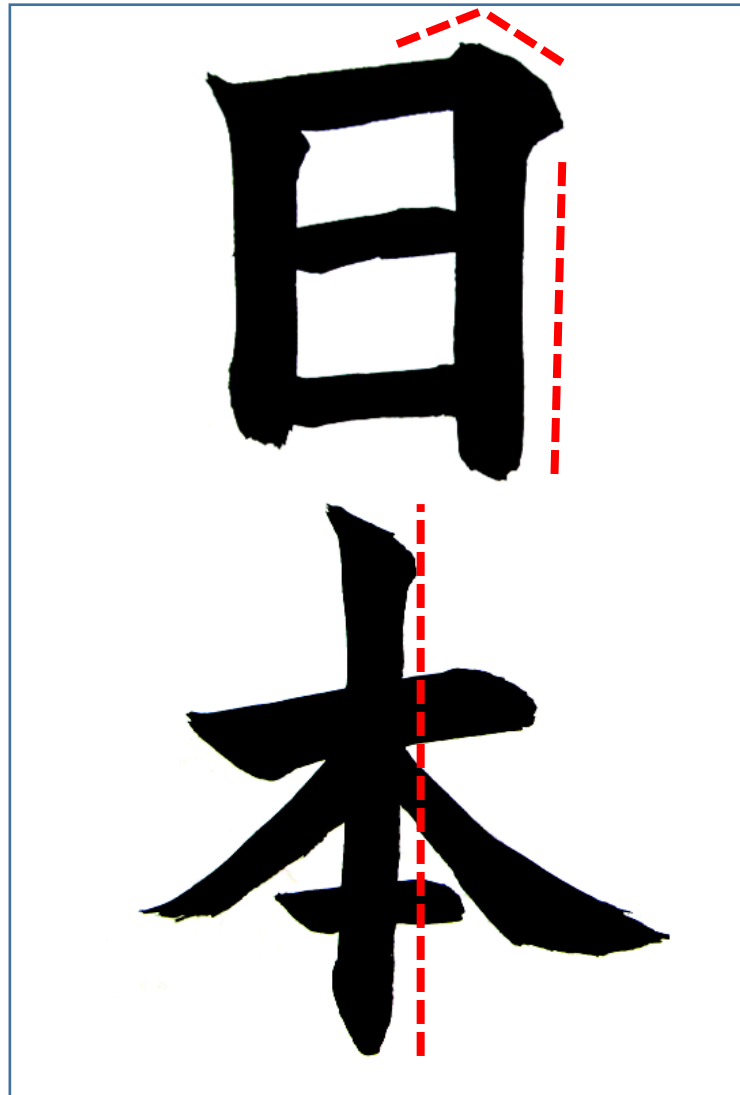




# 「行書」の基本原則⑥「丸み」

## 行書の 基本原則

- ① 右上がり
- ② 接し方
- ③ 終筆
- ④ 始筆
- ⑤ 太さ
- ⑥ 丸み



# 「行書」の6つの基本原則で完成

### 行書の 基本原則

- ① 右上がり
- ② 接し方
- ③ 終筆
- ④ 始筆
- ⑤ 太さ
- ⑥ 丸み

+

### 行書の原則（技法）

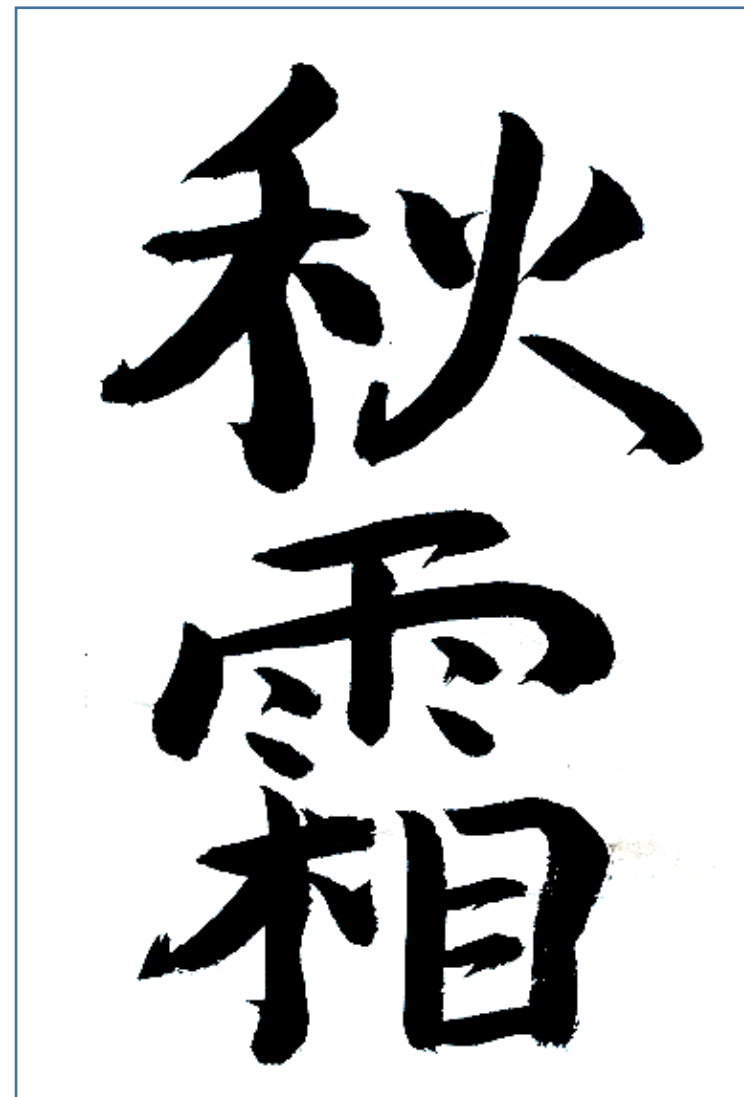
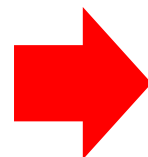
- ① 連続
- ② 省略
- ③ 筆順の変化

学習方法の工夫

# 6つの基本原則で「設計図」作成法（大学）

## 行書の 基本原則

- ① 右上がり
- ② 接し方
- ③ 終筆
- ④ 始筆
- ⑤ 太さ
- ⑥ 丸み



# 「省略」に集中して「まとめ書き」

行書の原則  
（技法）

①連続

②省略

③筆順の変化



# 授業を受けた学生の感想（最後の授業）

○書写の授業はとにかく書いて、上手な子が褒められるものだと思っていたが、その概念が壊され、**書写ってこんなに楽しいんだ！と驚かされた。**未来の子どもたちにも書写との出会いが素敵なものになるように指導していきたい。

○字を書くことがすごく苦手で、人前に出したくない、恥ずかしいという気持ちが大きかったが、**明らかに字が変化していくことが見えてとても嬉しかった。**母親に初めて毛筆で書いた字を自慢した。「苦手、嫌い、教えられない、**教えたくない**」という気持ちから、「楽しい、好き、教えてあげたい、できる」というポジティブなものに変化したことがすごく良かった。



子ども達を書写好きに！

藤井浩治(コージー)

